

設 計 書

工事名称 松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事

工事場所 松戸市本町14番地の10

工 期 自 令和8年 月 日
至 令和9年 1月 21日

設計年月日 令和8年 6月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【4階屋上】						
改修下地調査費		353	m ²			
防水下地高圧水洗 (手間・損料共)	120kg/cm ²	353	m ²			
コンクリートひび割れ部 Eポキシ樹脂シール (材工共)	幅10mm	48.4	m			
コンクリートひび割れ部 (Uカットシーリング 充填) (材工共)	ポリアウレタンシーリング 10×10～15mm -	48.4	m			
欠損部処理 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ポリアセメントモルタル埋	17.6	か所			
モルタル浮部改修 部 分Eポキシ樹脂注入 (材工共)	狭幅部 5本/m	10	m			
防水下地調整 樹脂モルタル金こて (材工共)	厚さ 2mm 立上り	110	m ²			
水勾配調整		1	式			別紙 00-0010
塗膜防水	X-1 アクリルウレタントップコート仕上げ	243	m ²			
塗膜防水	X-2 アクリルウレタントップコート仕上げ	110	m ²			
立上り端末シーリング	一般部 ポリアウレタン系(PU-2) 15×10	99.3	m			
笠木部分シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	143	m			
脱気筒 (材工共)	ステンレス製	5	か所			
改修工事用トレーン (ストレーナー共)	横引き 鉛製100φ用 アルミストレーナー共	4	か所			
【PH屋上・庇】						
改修下地調査費		85.4	m ²			
防水下地高圧水洗 (手間・損料共)	120kg/cm ²	85.4	m ²			

建築工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリートひび割れ部 Eポ 樹脂シール (材工共)	幅10mm	8.7	m			
コンクリートひび割れ部 (Uカットシーリング 充填) (材工共)	ポ リケトンシーリング 10×10～15mm -	8.7	m			
欠損部処理 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ポ リマーセメントモルタル埋	4.3	か所			
モルタル浮部改修 部 分Eポ 樹脂注入 (材工共)	狭幅部 5本/m	4.2	m			
防水下地調整 樹脂モルタル金こて (材工共)	厚さ 2mm 立上り	41.8	m ²			
水勾配調整		1	式			別紙 00-0011
塗膜防水	X-1 アクリルケタトップ コート仕上げ	43.6	m ²			
塗膜防水	X-2 アクリルケタトップ コート仕上げ	41.8	m ²			
立上り端末シーリング	一般部 ポ リケトン系(PU-2) 15×10	41.4	m			
脱気筒 (材工共)	ステンレス製	2	か所			
改修工事用ドレン (ストレーナー共)	横引き 鉛製100φ用 アルミストレーナー共	2	か所			
【その他】						
ステンレス笠木クリーニング		1	式			
消火器ケース	10型用 SUS製	1	個			
樋受石	2号	1	個			
計						

[illegible]

建築工事		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
壁改修下地調査費	軒裏含む	425	m ²			
外壁高压水洗い (手間・損料共)	12MPA(120kg/cm ²)	425	m ²			
ひび割れ部 Eポキシ樹脂シール (材工共)	幅10mm程度	15	m			
ひび割れ部 (Uカットシーリング 充填) (材工共)	ポリウレタンシーリング 10×10～15mm ポリマーセメントモルタル押え有り	3	m			
欠損部処理 (材工共)	100mm×100mm程度, 平均深20mm程度 ハツリ、錆落フラスキング、Eポキシ樹脂モルタル埋	16	か所			
モルタル浮部改修 部 分Eポキシ樹脂注入 (材工共)	一般部 16本/m ²	1	m ²			
既存塗膜除去部 下地調整費	C-2 厚1～2mm程度 こて塗り 塗装下地 コンクリート面	15	m ²			
複層塗材 E (既存塗膜除去部 肌合わせ)	コンクリート面 ふっ素系 水系 つやあり 上塗2回	15	m ²			
可とう形改修 塗材 E	ふっ素系 薄付け仕上	374	m ²			
水性反応硬化形軒 天用仕上塗材	軒裏 下地調整費共 菊水化学工業(株) ノキソファイン同等品 SK化研 ノキソフレッシュ同等品	40	m ²			
基礎巾木用塗料	下塗1回・主材塗2回 下地調整C-1塗り共	11	m ²			
【シーリング】						
シーリング 打継目地	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 25×10	104	m			
シーリング 建具廻り	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10	71	m			
シーリング 建具水切	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	27	m			
シーリング ガラス廻り	一般部 シリコン系(SR-1)	109	m			
【その他】						
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径100 掴み金物共	36.6	m			
ウェザーカバー	SUS 35cm 防虫網付き	4	個			
ポントキャップ (材工共)	φ100	1	個			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し (屋上防水改修)		433	m			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	433	m			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	433	m			
計						
屋上安全手摺	スタフション+単管 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0008
安全手摺	スタフション+単管	33	m			
計						
養生		1	式			別紙 00-0022
養生(外壁改修)		87.1	m			
計						

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0023
整理清掃後片付け (外壁改修)		87.1	m			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	W=900 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0017
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	346	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用賃料 修理費含む 22m未満 - -	346	m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 - -	346	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	346	m			
計						
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0018
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	30.8	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用賃料 修理費含む -	30.8	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	30.8	m			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	30.8	m			
計						

建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ネット状養生シート張り	防災Ⅱ類 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0019
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅱ類 掛払い手間 -	346	m			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅱ類 供用賃料 修理費含む -	346	m			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 Ⅱ類 基本料 修理費含む -	346	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		346	m			
計						
金網式養生枠張り	仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0020
金網式養生枠	基本料 修理費含む -	32	m			
金網張り	掛払い手間 -	32	m			
金網式養生枠	供用賃料 修理費含む -	32	m			
仮設材運搬 (金網式養生枠)		32	m			
計						
小横幅ネット張り (層間塞ぎ)	仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0021
小横幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ホ° リエスル 掛払い手間 -	54.2	m			
小横幅ネット張り (層間塞ぎ)		54.2				
小横幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ホ° リエスル 基本料 修理費含む -	54.2	m			
仮設材運搬 (小横幅ネット)		54.2	m			
計						

[illegible]

[illegible]

建築工事 発生材処理						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材積込		1	式			別紙 00-0014
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積込み	ボート・木材類 人力	1.3	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0015
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 23.0km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボート類 DID区間有り 23.0km以下	1.3	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0016
建設廃材処分費	無筋コンクリート	0.2	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	0.3	m3			
建設廃材処分費	金属くず	0.5	m3			
発生材処分	石綿含有産業廃棄物	0.5	m3			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

現場説明書

1. 工事名称 松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事
2. 工事場所 松戸市本町14番地の10
3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 11月上旬に1週間イベントを開催するため、イベント開催中は騒音や振動・臭気が発生する作業を行わないこと。
- ・ 施設利用者、歩行者、交通車両への安全管理を十分に行うこと。
- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 騒音、振動及び粉塵等が発生する作業を行う場合は、周辺への配慮を怠らないこと。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し提出をすること。
- ・ 関係官公署への届出は、遅滞なく行うこと。
- ・ ウレタン塗膜防水の保証期間は10年とする。

<工程について>

- ・ 施設利用者に支障が生じることがないように工程を組み、施設管理者と十分協議を行うこと。

<仮設について>

- ・ 交通誘導員を配置し、歩行者等の安全や一般車両の誘導など通行の妨げにならないよう努めること。
- ・ 工事用車両駐車場については、施設外の近隣の駐車場を利用すること。
- ・ 必要に応じて、道路占用許可・道路使用許可を取得すること。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、通期の週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格については通期の4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

- ・ 提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・ 検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・ 落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

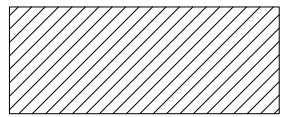
松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事



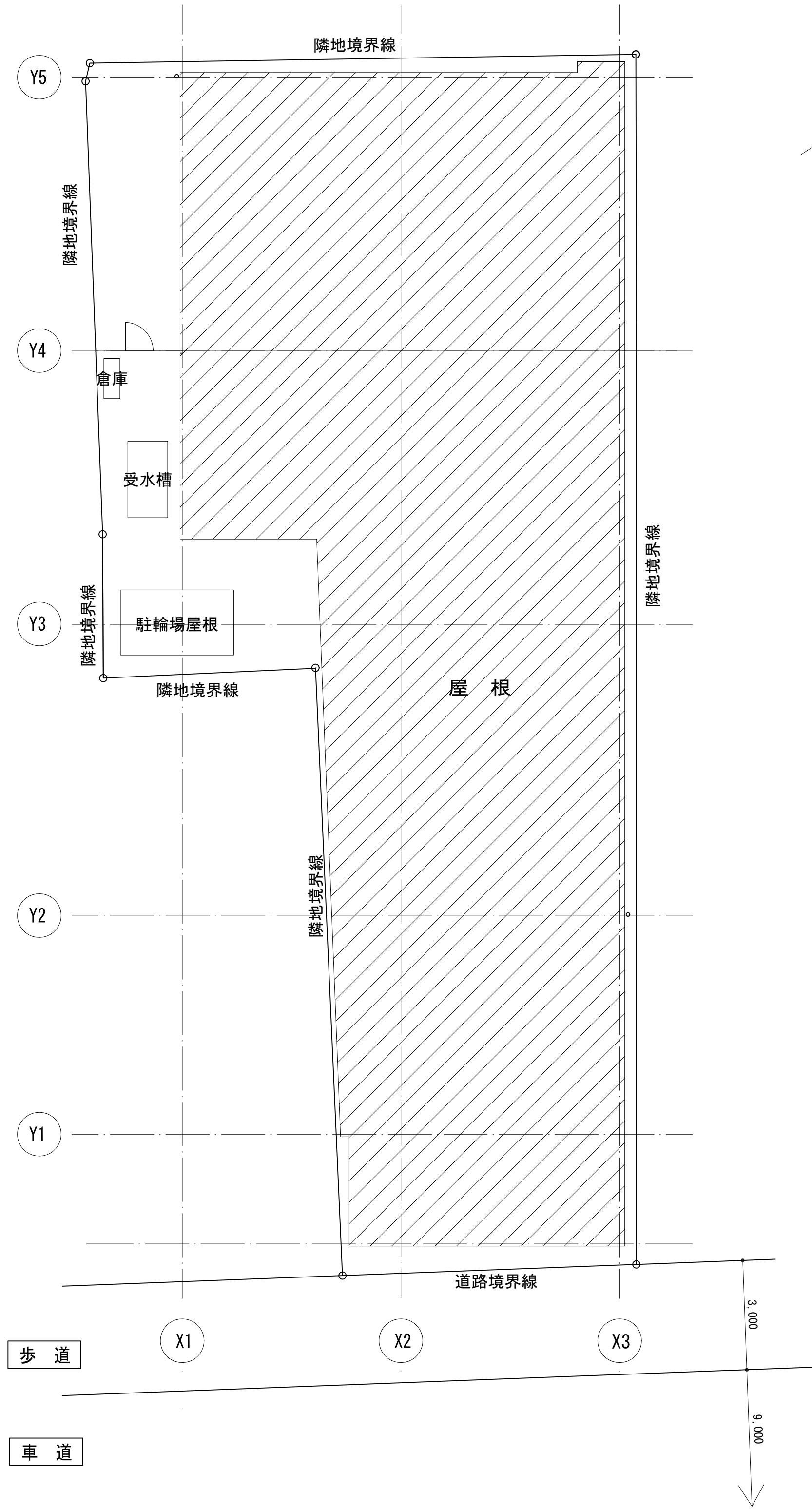
工事場所：松戸市男女共同参画センター 松戸市本町14番地の10

案内図 S=1:2500

<凡例>

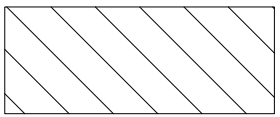


: 工事場所を示す



配置図 S=1:100

<凡例>



: 工事建物を示す

※ 工事範囲については平面図及び立面図参照

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年6月 日	変更年月日	
縮尺	1:2500 1:100	図面番号	A-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

5

建具改修工事

○20 ガラスブロック

○21 ガラス用フィルム

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ○グレイジングチャンネル ○	窓建具の製造所の仕様による ○図示 ○
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材 ○	窓建具の製造所の仕様による ○図示 ○
ステンレス製	○シーリング材 ○	窓建具の製造所の仕様による ○図示 ○
樹脂製	○グレイジングチャンネル ○	窓建具の製造所の仕様による ○図示 ○

[5.14.5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
○160×160	○95 ○				
○200×200	○95 ○				

壁用金属枠及び補強材

窓図示 ○

力骨 材質 窓ステンレス鋼 (SUS304) ○

寸法 窓径5.5mm ○

形状 窓はご形状横筋及び単筋 ○

化粧目地モルタルの色 (○白 ○グレー)

シーリングの種類 (○SR-1 ○PS-1)

金属製化粧カバー 材質 ○ステンレス製 ○アルミニウム製

寸法 ○図示 ○

形状 ○図示 ○

目地部の横力骨の納まり

窓ガラスブロック製造所の仕様による ○図示 ○

工法 1-4 適用区分による風圧力の (○I 0.15 ○I 0.3) 倍の風圧力に対応した工法

6

内装改修工事

○1 改修範囲

○2 既存床の撤去及び下地補修

○3 既存壁の撤去及び下地補修

○4 施工一般

○5 製材

既存間仕切壁の撤去到に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

窓壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示

天井内の既存壁の撤去到に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

窓壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示

既存天井の撤去到に伴う取合部の壁面の改修

窓既存のまま ○図示

ビニル床シート等の除去

窓仕上げ材のみ (接着剤とも)

○下地モルタルとも (○図示の範囲 ○除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法

○機械的除去工法 ○目荒し工法

改修後の床の清掃範囲

窓室内の改修箇所 ○

間仕切壁撤去到に伴う他の構造体の補修

窓改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り ○

(全塗厚が25mmを超える場合の処置 窓図示)

材料のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (a) (b)による ○

○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		窓2級	窓A種 ○B種 ○	○	○
		○			
		窓2級	窓A種 ○B種 ○	○	○
		○			

○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え係り面	○	窓上小節	窓A種 ○B種 ○	○	○
見え係り面以外	○	窓小節以上	窓A種 ○B種 ○	○	○

○JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	
		窓1級	○	窓10%以下	○A種 ○B種 ○	○
		○				
		窓1級	○	窓10%以下	○A種 ○B種 ○	○
		○				
		窓1級	○	窓10%以下	○A種 ○B種 ○	○
		○				

○JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		()	○適用する	窓A種 ○B種 ○	○
		造作材の場合 (窓A種 ○B種)	○適用しない	○	
		()	○適用する	窓A種 ○B種 ○	○
		造作材の場合 (窓A種 ○B種)	○適用しない	○	

○6 造作用修成材

○7 造作用単板積層材

○8 合板等

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					窓1等 ○2等	○
					窓1等 ○2等	○

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					窓1等 ○2等	○	○
					窓1等 ○2等	○	○

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				窓15%以下	○
				○	○

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					窓15%以下	○
					○	○

○JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				○適用する	○
				○適用しない	○

○JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
				窓14%以下	○
				○適用する	○
				○適用しない	○

○JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							○
							○

○「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	窓5.5	○1類	広葉樹	窓2等以上	○1等	○適用する
	○	○2類	針葉樹	窓C-D以上	○	○適用しない

○「合板の日本農林規格」構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
窓2級以上	○1級	○1類	窓C-D	○12	○	○適用する	○適用しない	○
○1級		○特類	以上	○		()	○適用しない	

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			○1類	○適用する
			○2類	○適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	化粧加工方法	防虫処理の適用
			○1類		○適用する
			○2類		○適用しない

○パーティクルボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	窓15		窓13タイプ	窓P又はM	
	○		○	○	

○JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

○MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

○9 接合具等

○10 接着剤

○11 防蟻・防蟻処理

○12 内部間仕切軸組及び床組み

○13 窓、出入口その他

○14 軽量鉄骨天井下地

○15 軽量鉄骨壁下地

○16 ビニル床シート

○17 ビニル床タイル

○18 特殊機能床材

○19 ビニル床木

造作材の化粧面の釘打ち

窓隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭釘打ち ○釘頭現し

諸金物

窓かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度の垂鉛めっき)

○ (形状: 寸法: 材質:)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆ ○

薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○K2 ○K3 ○K4
	○K2 ○K3 ○K4
	○K2 ○K3 ○K4

薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	窓薬剤の製造所の仕様による	窓JIS K 1571に適合又は同等品
	○	○

○薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理

適用部位 ()

○合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位 ()

○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓杉又は松 ○

○床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓杉又は松 ○

○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

窓吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ○

野縁等の種類

屋外 (窓25形 ○19形) 屋内 (窓19形 ○25形)

野縁の形式及び寸法

野縁受け、つりボルト及びびんサートの間隔 ○図示 ○900mm

周辺部の端からの間隔 ○図示 ○150mm

野縁の間隔 ○図示 ○

既存の埋込みインサート ○使用する ○使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験

○行う

試験箇所数 窓屋内の場合、該当箇において3箇所

○ () 箇所

引張試験にて確認する強度

窓つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度

○ () N

○行わない

○つりボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 窓図示 ○

○天井のふところ高が3.0mを超える場合

補強方法 窓図示 ○

○天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 窓図示 ○ 補強方法 窓図示 ○

スタッド、ランナーの種類

窓改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

○図示 ○

スタッドの高さが5.0mを超える場合 窓図示 ○

出入口及びこれに準ずる開口部の補強 窓標準仕様書 6.7.4(5) による ○

種類の記号

色柄	厚さ (mm)	備考
窓F S (複層ビニル床シート)	○無地	窓2.0
○防汚性ビニル床シート	○マフパ柄	○
○	○柄物	○

接合部の処理 窓熱溶接工法 ○

種類の記号

色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
窓K T (コンポジションビニル床タイル)	○無地	○300×300	窓2.0
	○柄物	○450×450	○3.0
		○450	○
○T T (単層ビニル床タイル)	○無地	○300×300	○2.0
	○柄物	○450×450	○
		○450	○
○F T (複層ビニル床タイル)	○無地	○300×300	○2.0
	○柄物	○450×450	○2.5
		○450	○3.0
○F O A (置敷きビニル床タイル)	○無地	○500×500	○4.0
	○柄物	○	○
		○	○
○F O B (薄型置敷きビニル床タイル)	○無地	○	○
	○柄物	○	○

種類の記号

厚さ、寸法、形状	性能	種類
○帯電防止床シート	(mm)	
○帯電防止床タイル	× (mm)	
○視覚障害者用床タイル	(mm)	
○耐動荷重性床シート	(mm)	
○防滑性床シート	(mm)	
○防滑性床タイル	× (mm)	

視覚障害者用床タイル

突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

材質の種類 ○軟質 ○硬質

高さ (mm) 窓60 ○75 ○100

厚さ (mm) 窓1.5以上 ○

○20 ゴム床タイル

○21 カーペット敷き

○22 合成樹脂塗床

○23 フローリング張り

○24 畳敷き

種類 ○単送品 ○積層品

色柄 ()

厚さ (mm) 窓3.0 窓4.5 窓6.0 窓9.0

寸法 (mm) () × ()

○織じゅうたん

織り方	バイル形状
○ウェストンカーペット	○カットバイル
○ダブルフェースカーペット	○ループバイル
○アキスミンスターカーペット	○カットノループ

色柄 窓模様のない無地 ○

バイル系の繊維種等

窓無地の織りじゅうたんの種別 (種別: ○A種 ○B種 ○C種)

○

帯電性 ○適用する ○適用しない

織じゅうたんの接合方式 窓ヒートボンド工法 ○つづり縫い

下敷き材 窓反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○

○タフテッドカーペット

バイル形状	バィル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
○カットバィル	窓5～7	○全面接着工法	○適用する	
○ノットバィル	窓4～6	○グリップ工法	○適用しない	
○カット、ノット併用	○			

下敷き材 (グリップ工法の場合)

窓反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○

○タイルカーペット

バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
窓ループバイル	窓第一種		窓500×500	窓6.5	
	窓第二種		○	○	
○カットバイル	○第一種		窓500×500	窓6.5	
	○第二種		○	○	
○カット、ループ併用	○第一種		窓500×500	窓6.5	
	○第二種		○	○	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆ ○

タイルカーペットの敷き方

平場 窓市松敷き ○模様流し ○

階段部分 窓模様流し ○市松敷き ○

見切り、押え金物 材質 () 種類 ()

形状等 窓図示 ○

種類の記号

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○厚膜型塗床材			窓平滑仕上げ
弾性軟質樹脂系塗床			○防滑仕上げ
			○つや消し仕上げ
○厚膜型塗床材		○薄膜流しのべ工法	○平滑仕上げ
1 ¹ / ₂ 樹脂系塗床		○厚膜流しのべ工法	○防滑仕上げ
		○樹脂めがけ工法	
○薄膜型塗床材			窓平滑仕上げ
(1 ¹ / ₂ 樹脂系塗床)			
○7 ¹ / ₁₆ 樹脂塗床 (防塵塗料塗布)		窓製造所の指定による	表面仕上げ 窓平滑
			溶剤 窓水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 窓F☆☆☆☆ ○

フローリング張り

フロアリングのホルムアルデヒドの放散量等

窓改修標準仕様書6.11.2(2)による ○

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量

窓F☆☆☆☆ ○

○単層フローリング (フローリングボード1等)

工法

○釘止め工法 (○根太張り ○直張り)

○接着工法

窓なら ○

樹種

窓なら ○

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○単層フローリング (フローリングブロック1等)

樹種 ○

厚さ (mm) ○

大きさ ○

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○複合フローリング

工法

○釘留め工法 (○根太張り ○直張り)

○接着工法

窓なら ○

樹種

種別 ○A種 ○B種 ○C種

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材 窓合成樹脂発泡シート ○

○現場塗装仕上げ

窓ウレタン樹脂ワニス塗り

○オイルステインの上、ワニス塗り

○生地のままワニス塗り

種類 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 (塗床: OKT-I OKT-II OKT-III OKT-K OKT-N)

下地の種類 ○標準仕様書 表12.6.1による床組

○ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)

○

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳 (畳表: ○C1 ○C2)

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	特記仕様書 (5)		
作成年月日	令和 8年 6月 日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-06
松戸市 街づくり部 建築保全課			

8

環境配慮改修工事

⑨
その他

○ 1 土工事

○ 2 コンクリートブロック工事

● 3 ガラスクリーニング

○ 4 既存建具金物調整

試験

路床土の支持力比（CBR）試験 ○行う（箇所） ○行わない

路床締固め度の試験 ○行う（箇所） ○行わない

現場CBR試験 ○行う（箇所） ○行わない

六価クロム溶出試験 ○行う（現場説明書による） ○行わない

路盤

路盤の厚さ ○図示 ○

路盤材料（改修標準仕様書表9.5.3による種類）

○クラッシュラン ○粒度調整砕石 ○再生クラッシュラン

○再生粒度調整砕石

○クラッシュラン鉄鋼スラグ

○粒度調整鉄鋼スラグ

○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

舗装の構成 ○図示 ○

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う ○行わない

舗装の平坦性 窓 著しい不陸がないもの ○

○ 2 建設発生土

建設発生土は、
処分場会社名、
（発生場所からの距離 km）に搬出することとする。

工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。
片道運搬距離は積算上、代表地点から算出したであり距離であり、
実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。
搬出の際は、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、
計量した結果証明書提出しなければならない。
なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験28項目、含有量試験2項目とする。

別記2

工事区分表

工事内容		施工区分			
		建築	電気	機械	
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの柱、梁、壁、床に設ける開口	○	○	○	
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	解体、穴明け	○	○	○
		鉄筋補強	○	○	○
		スリーブ、型枠（補強筋無し）	○	○	○
		スリーブ、型枠（補強筋有り）	○	○	○
基礎	屋内	埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	○	○	○
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）	○	○	○
	屋上	開口補強	○	○	○
		切込み（開口補強有り）	○	○	○
	屋外	切込み（開口補強無し）	○	○	○
躯体と一体のもの		○	○	○	
点検口	受水槽、タンク類等	上記以外のもの	○	○	○
		躯体と一体のもの	○	○	○
	架台、アンカーボルト	上記以外のもの	○	○	○
		無筋コンクリート製、その他	○	○	○
	床、壁、天井		○	○	○
配管ビット、トレンチビット		○	○	○	
配管配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	○	○
		二次側	○	○	○
	熱感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管		○	○	○
	防火シャッターから熱感知器に至る配管		○	○	○
			○	○	○
換気扇取付パネル		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	

仮設足場（参考）

枠組み本足場

鋼製布板

二段手すり

最上段

二段手すり

中間段

鋼製布板

建柱

根がらみ

最下段

鋼製布板

二段手すり

最上段

二段手すり

中間段

鋼製布板

建柱

根がらみ

最下段

最上段については、手すり先行専用足場型といえども二段手すり及び幅木（つま先板）を設置すること。（高さ150mm以上の金属製とし、両側に設置する。）手すりの安全帯取り付け強度を確認すること

H=850以上で中さんを有する丈夫な手すりとする

幅木（つま先板）は高さ150mm以上の金属製とし、両側（外部及び躯体側）に設置する。

注）墜落防止のため、内側（躯体側）に上さんを設置すること。（高さ850mm以上）

「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり搬置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

別記1

建設副産物の処理

● 1 共通事項

1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、発生材処理計画書に含め各1部提出すること。
また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2) 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託 契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。
建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。

3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のE票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提示すること。

工事名

松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事

図面名

特記仕様書（8）

作成年月日

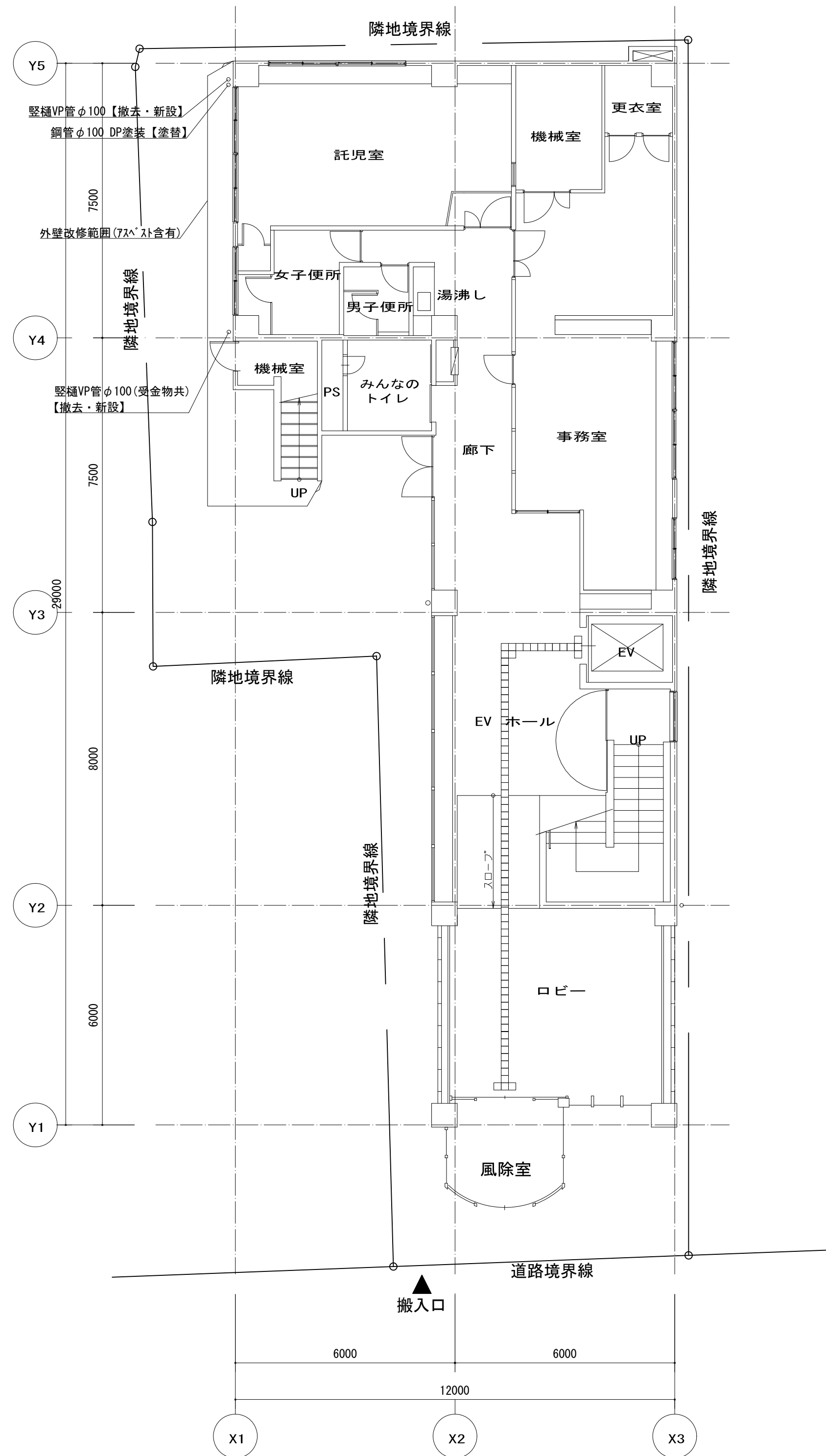
令和 8年 6月 日 変更年月日

縮尺

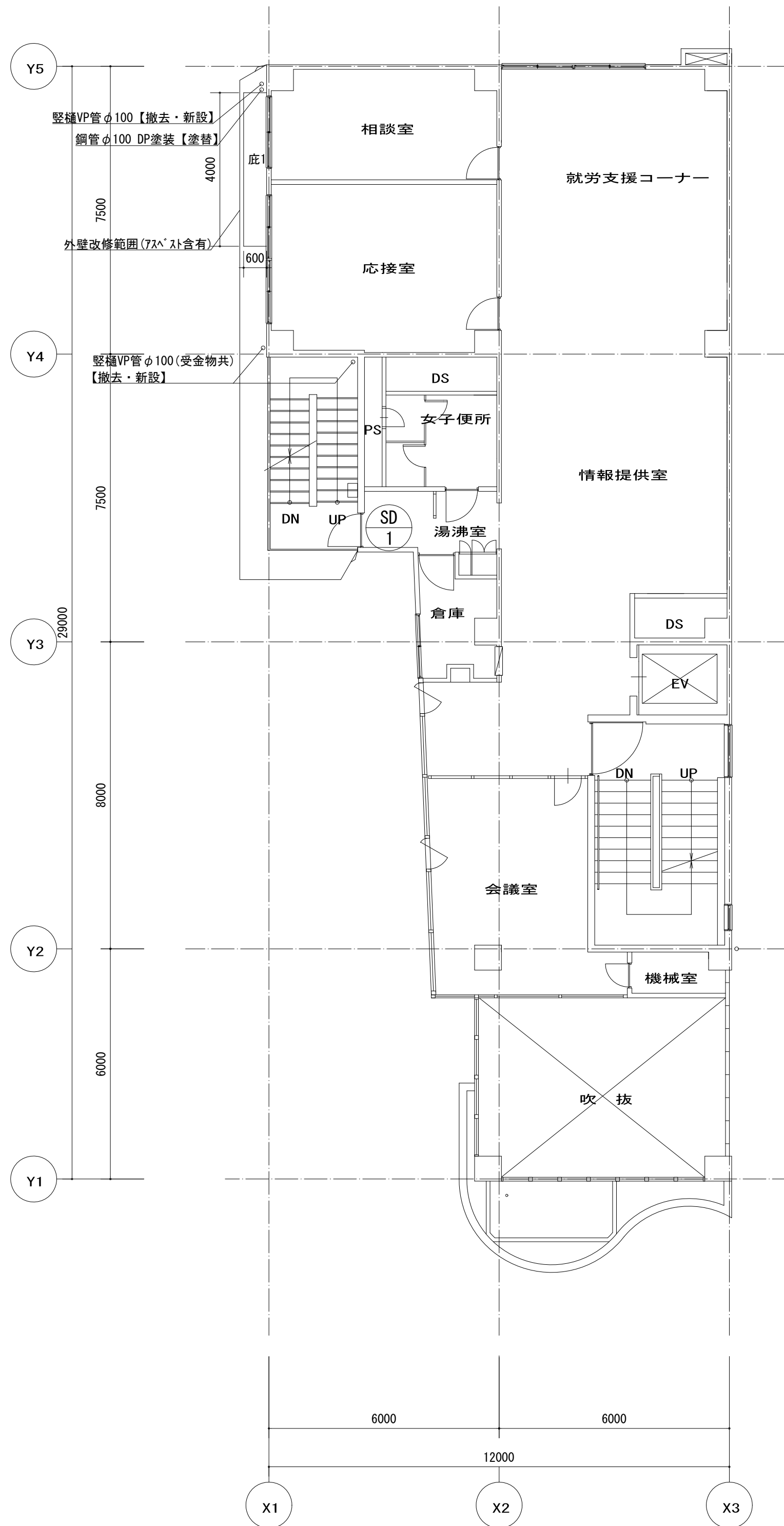
No Scale 図面書号

A-09

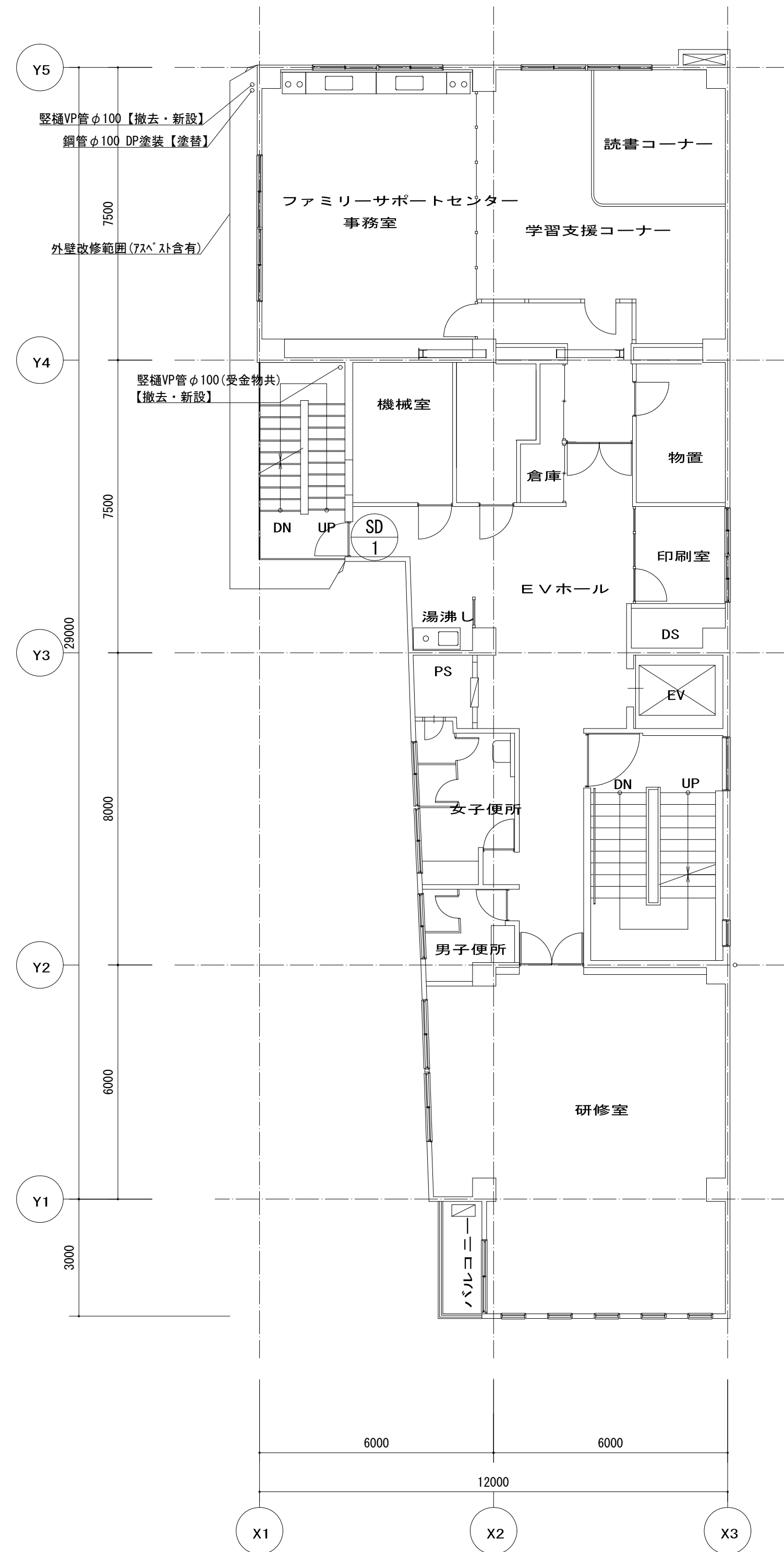
松戸市 街づくり部 建築係全課



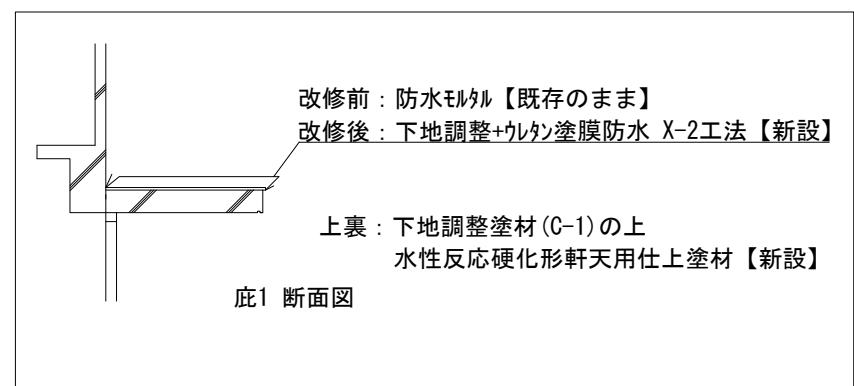
1階平面図 S=1:100



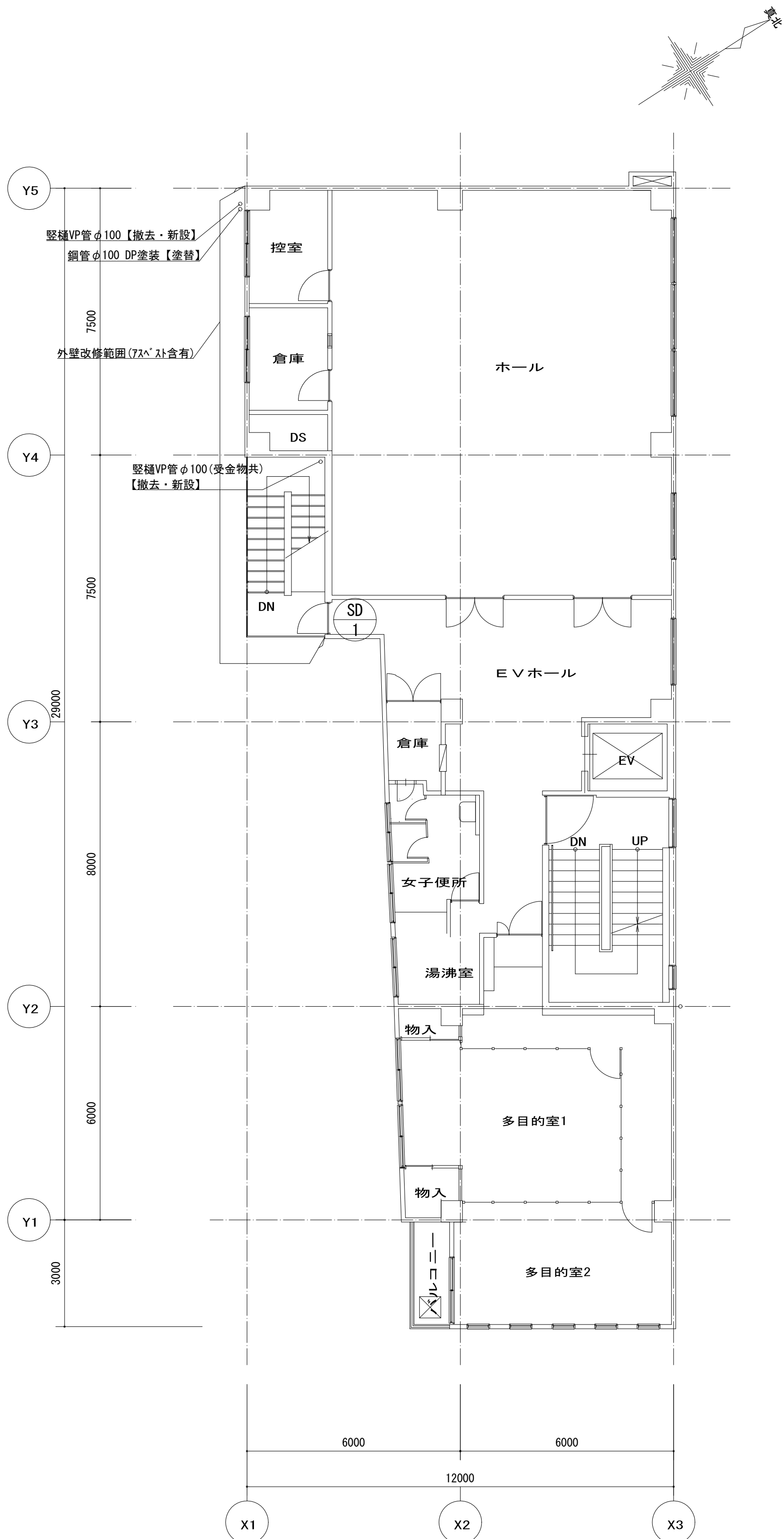
2階平面図 S=1:100



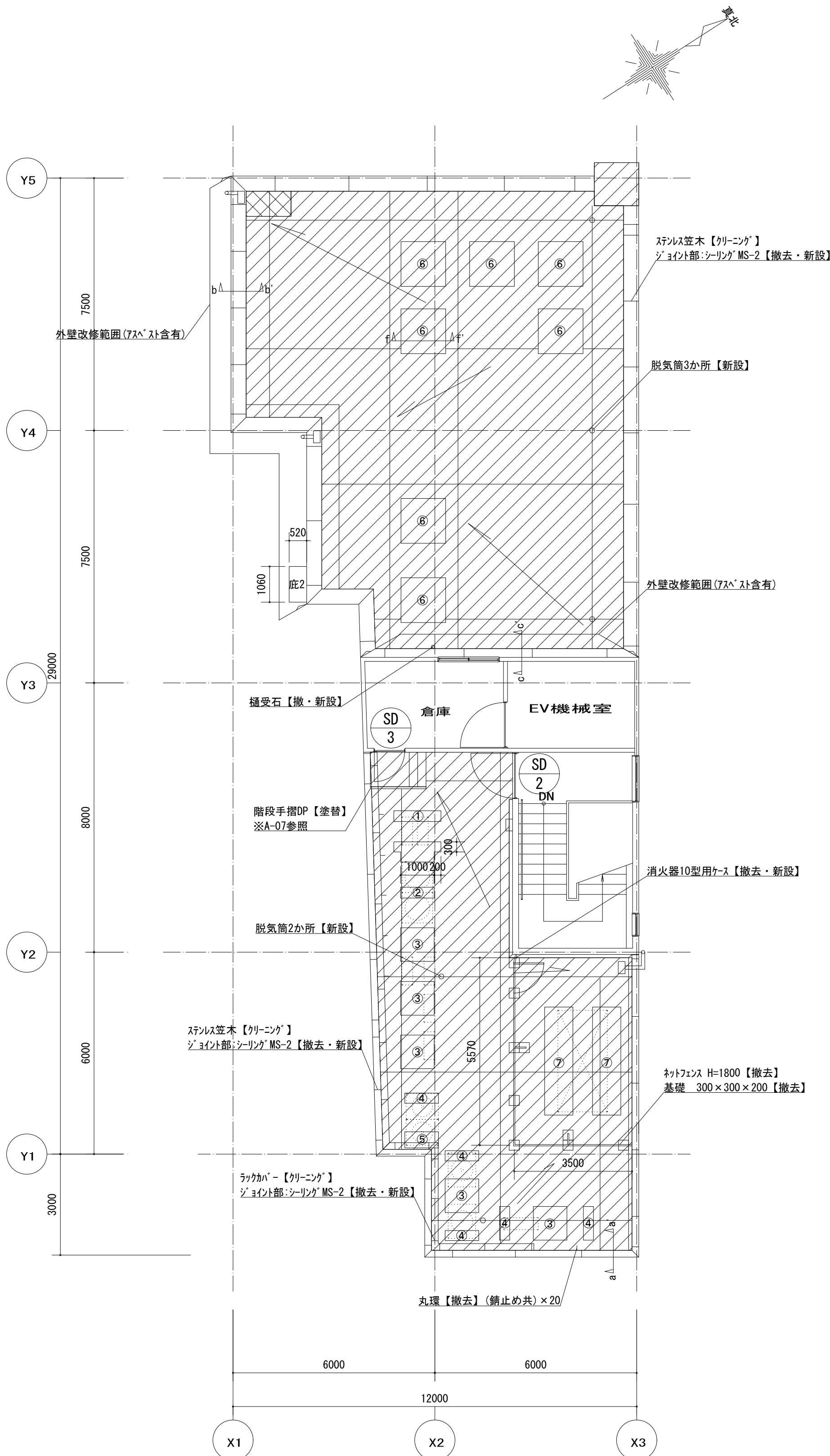
3階平面図 S=1:100



工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	1階、2階、3階平面図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1：100	図面番号	A-05
松戸市 街づくり部 建築保全課			

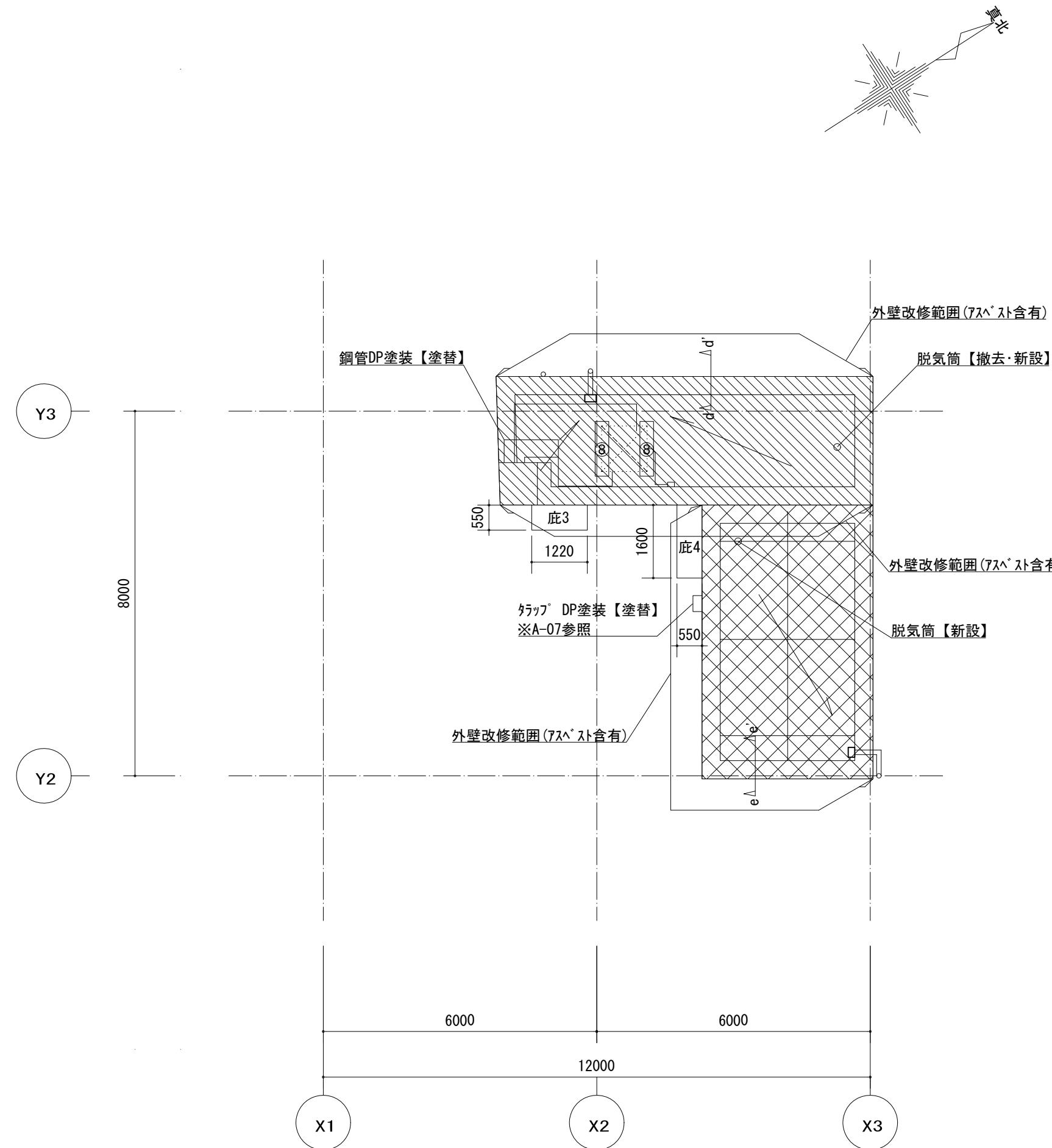
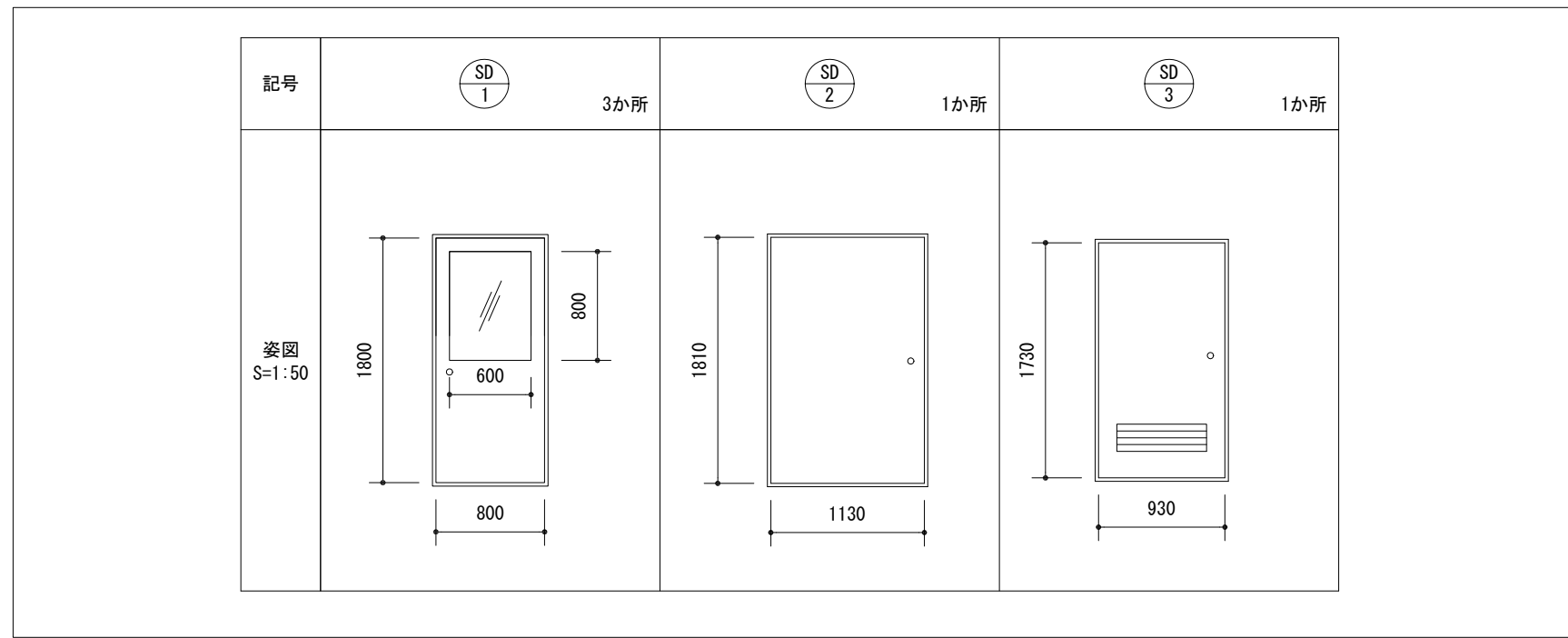


4階平面図 S=1:100



PH階平面図 S=1:100

※ドレン×4
改修前：横引きドレンφ100【撤去】
改修後：改修用横引きドレンφ100【新設】

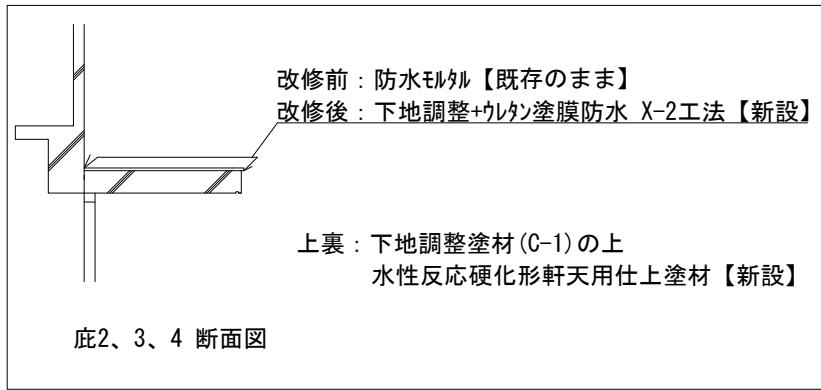


PH階屋上上面図 S=1:100

※ドレン×2
改修前：横引きドレンφ100【撤去】
改修後：改修用横引きドレンφ100【新設】

<防水改修仕上表>

		平場	立上り	パラベット	備考	
屋上		改修前	アスファルト防水+コンクリート押え【既存のまま】	アスファルト防水+モルタル金ゴテ【既存のまま】	ステンレス笠木【既存のまま】	伸縮目地【撤去】
		改修後	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-1工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	ステンレス笠木 クリーニング	
		改修前	ウレタン塗膜防水 X-1工法【既存のまま】	ウレタン塗膜防水 X-2工法【既存のまま】	ウレタン塗膜防水 X-2工法【既存のまま】	
		改修後	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-1工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	
PH屋上(ウレタン塗膜防水)		改修前	アスファルト防水+コンクリート押え【既存のまま】	アスファルト防水+モルタル金ゴテ【既存のまま】	防水モルタル金ゴテ【既存のまま】	伸縮目地【撤去】
		改修後	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-1工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	
		改修前	アスファルト防水+コンクリート押え【既存のまま】	アスファルト防水+モルタル金ゴテ【既存のまま】	防水モルタル金ゴテ【既存のまま】	
		改修後	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-1工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	下地調整+ウレタン塗膜防水 X-2工法【新設】	



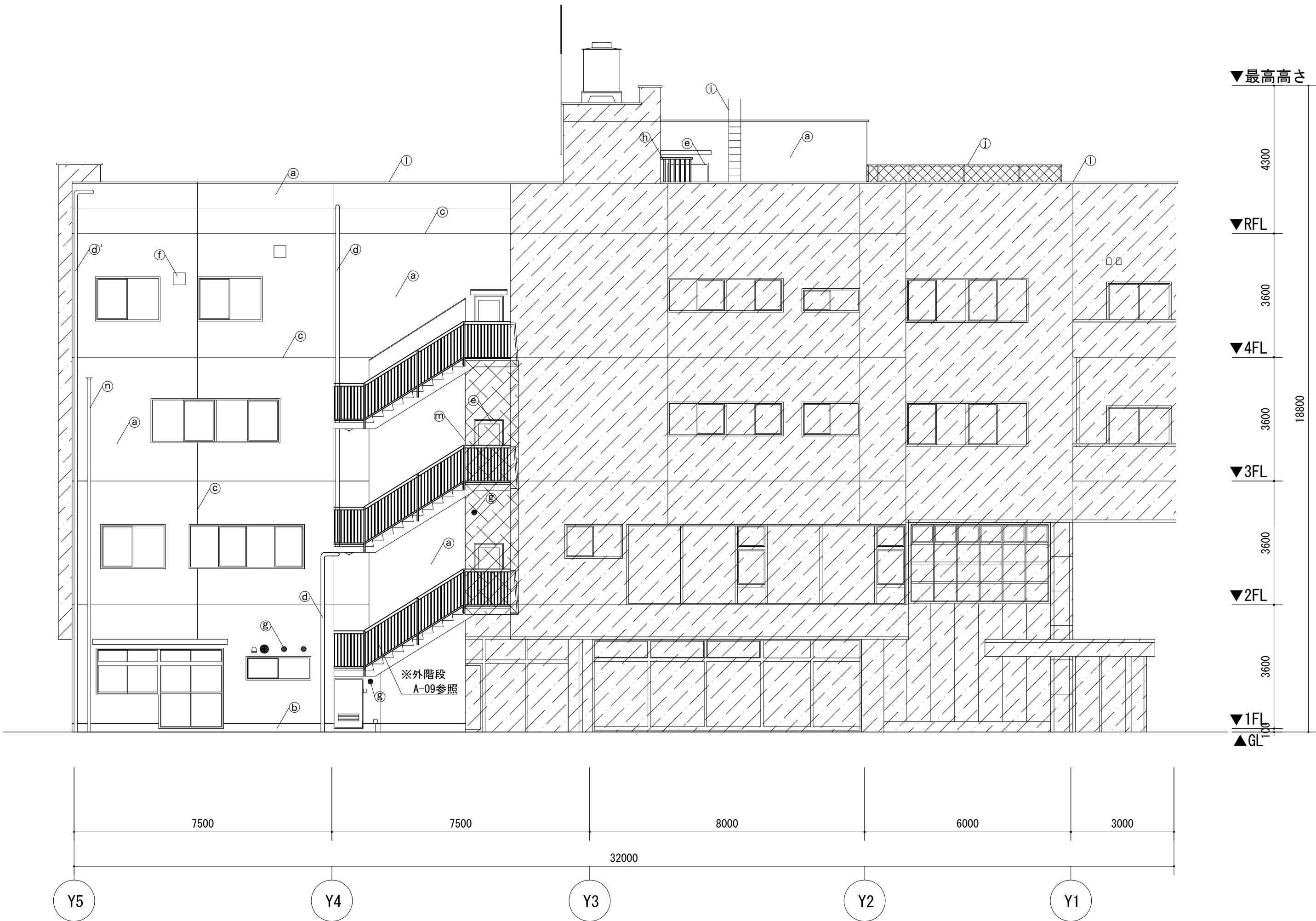
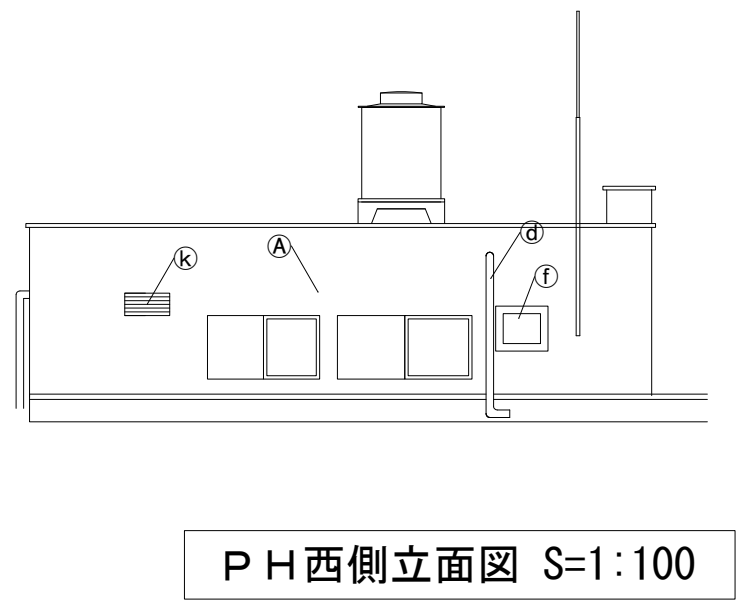
室外機基礎		
	平面寸法	高さ
①	1400 x 320	
②	1000 x 320	
③	1000 x 1000	230
④	1000 x 300	
⑤	1000 x 480	
⑥	1350 x 1350	380

キュービクル基礎		
	平面寸法	高さ
⑦	3210 x 840	500
設備配管基礎		
平面寸法	高さ	基数
140 x 140	110	8
200 x 90	110	8
φ110	130	2

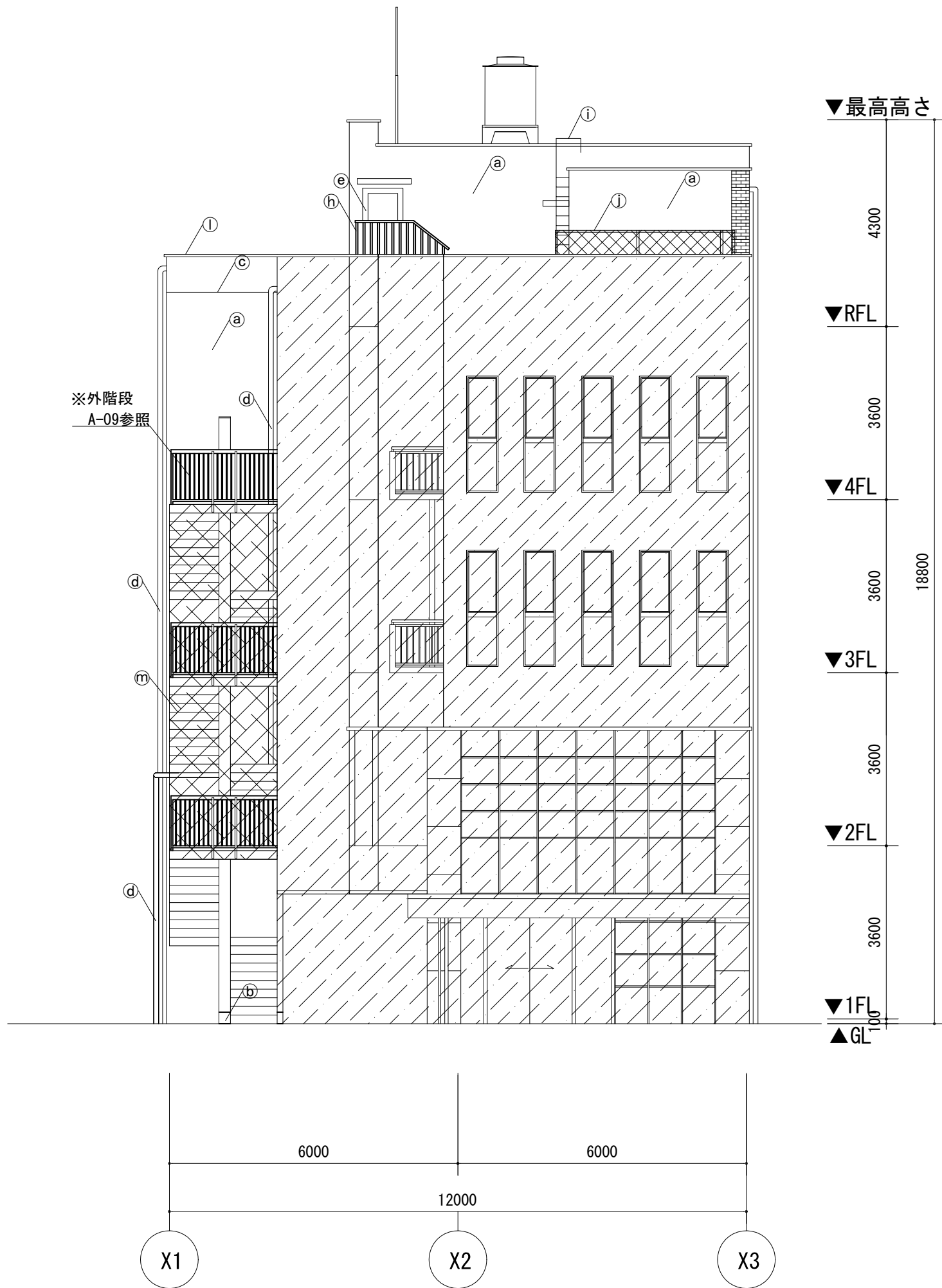
高架水槽基礎		
	平面寸法	高さ
⑧	1710 x 670	380

※設備配管基礎は施工時ジャッキアップし、施工後は敷設マットを新設する

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	4階、R階 平面図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-06
松戸市 街づくり部 建築保全課			



南側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100

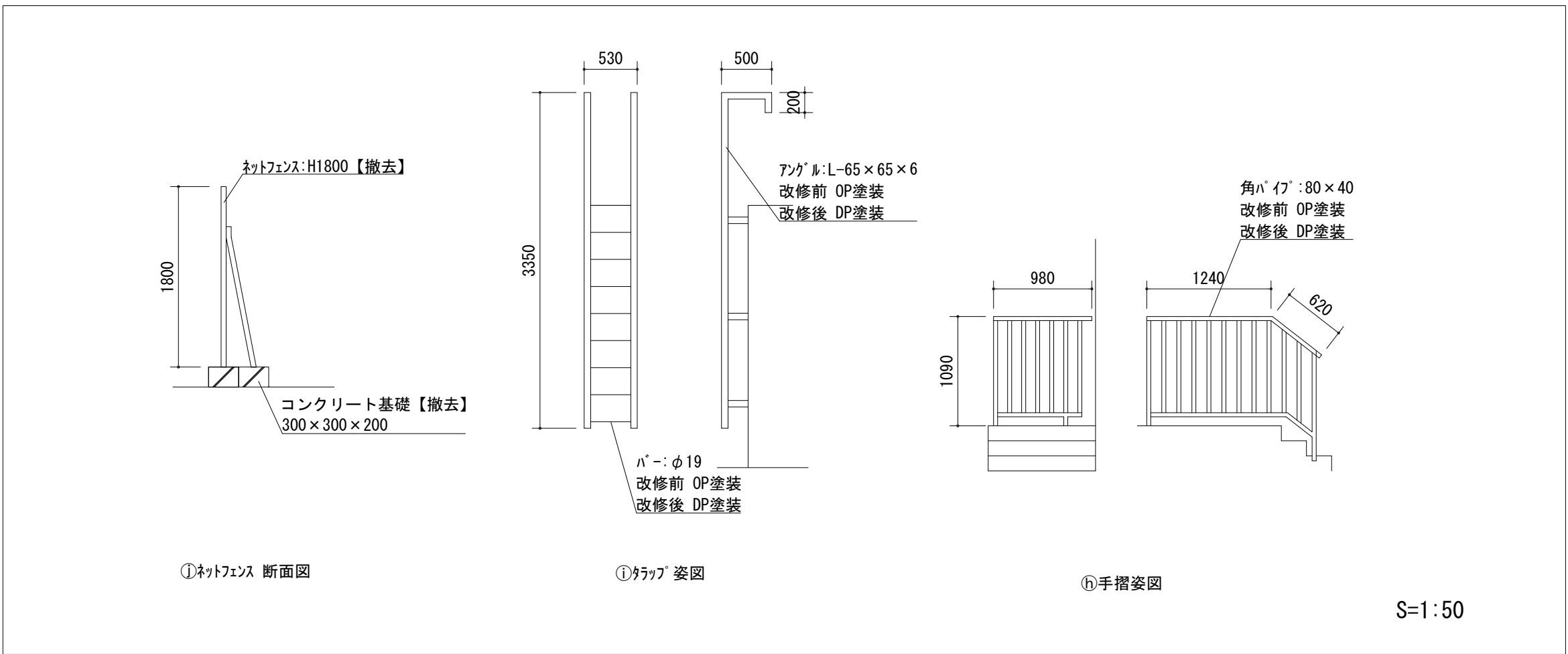
＜凡例＞

㊤	外壁	改修前	コンクリート打放し+吹付けタイル（75ヘスト含有）【既存のまま】		建具廻りシーリング （工事範囲全面所打替え）	改修前	シーリング 15×10 【撤去】
		改修後	可とう形改修塗材E【塗替】（補修部；下地調整O-1+複層塗材E【新設】）		改修後	シーリング 15×10 【打替え】	仕上げあり：PU-2 仕上げなし：MS-2
㊦	巾木（H=300）	改修前	杉板金ごて仕上げ【既存のまま】		窓ガラス （工事範囲全面所打替え）	改修前	ガラスフィルム【撤去】屋外側のみ
		改修後	下地調整の上、基礎巾木仕上塗材【新設】		改修後	SR-1【打替え】	屋外側のみ ガラスカーニング 共
㊨	打継・化粧目地	改修前	シーリング 20×10 【撤去】		※75ヘスト製建具：全面所カーニング（屋外側のみ） ※特記なき鉄部（設備配管の支持金物（ブラケット等）等）について、DP塗装【塗替え】を行うものとする。		
		改修後	PU-2シーリング 20×10 【打替え】				
㊩	縦樋（スリット 共）	改修前	ケーVP管 φ100 【撤去】受金物共（㊤' はVP管のみ撤去・新設）				
		改修後	ケーVP管 φ100 【新設】受金物共				
㊪	鋼製建具	改修前	OP塗装 【既存のまま】				
		改修後	DP塗装 【塗替え】 両面、枠共				
㊫	ウレザールカー	改修前	SUS製 □350 【撤去】				
		改修後	SUS製 □350 【新設】				
㊬	ベントキャブ	改修後	SUS製 φ100、150、250 【撤去】				
		改修前	SUS製 φ100、150、250 【新設】FD付き				
㊭	手摺	改修前	角パイプ 80×40 OP塗装 【既存のまま】				
		改修後	角パイプ 80×40 DP塗装 【塗替え】				
㊮	ラップ	改修前	アングル・L-65×65×6、パイプ：φ19 OP塗装 【既存のまま】				
		改修後	アングル・L-65×65×6、パイプ：φ19 DP塗装 【塗替え】				
㊯	ネットフェンス	改修前	H=1800 【撤去】基礎共				
		改修後	—				
㊰	ガラス	改修前	□900 【既存のまま】				
		改修後	□900 【カーニング】				
㊱	笠木	改修前	SUS製 目地シーリング 【撤去】				
		改修後	SUS製 目地シーリング NS-2 【新設】本体カーニング				
㊲	落下防止ネット	改修前	ポリエステル 【撤去】				
		改修後	—				
㊳	鋼管 φ100	改修前	OP塗装 【既存のまま】				
		改修後	DP塗装 【塗替え】				

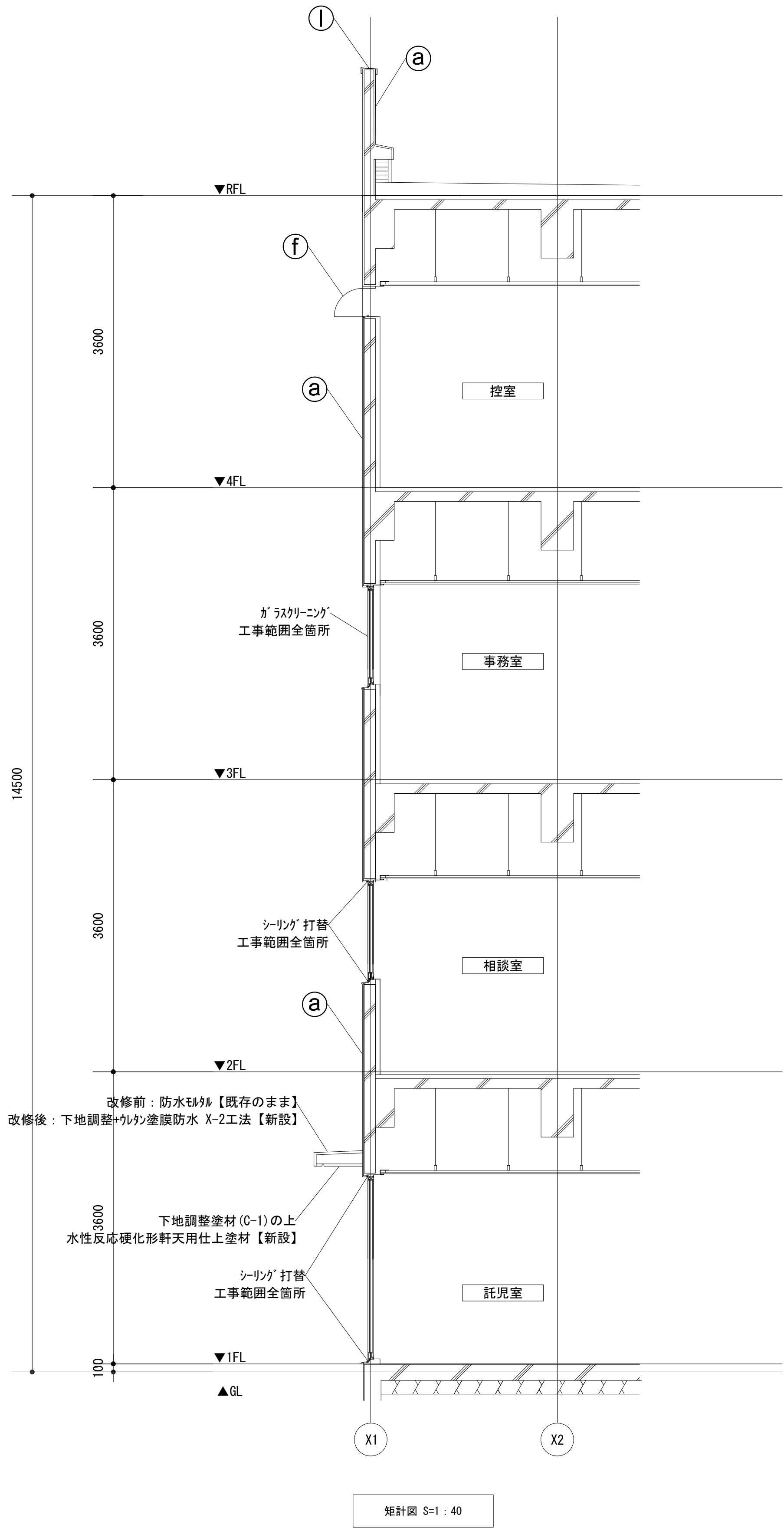
＜凡例＞

工事対象外範囲を示す

落下防止ネットを示す



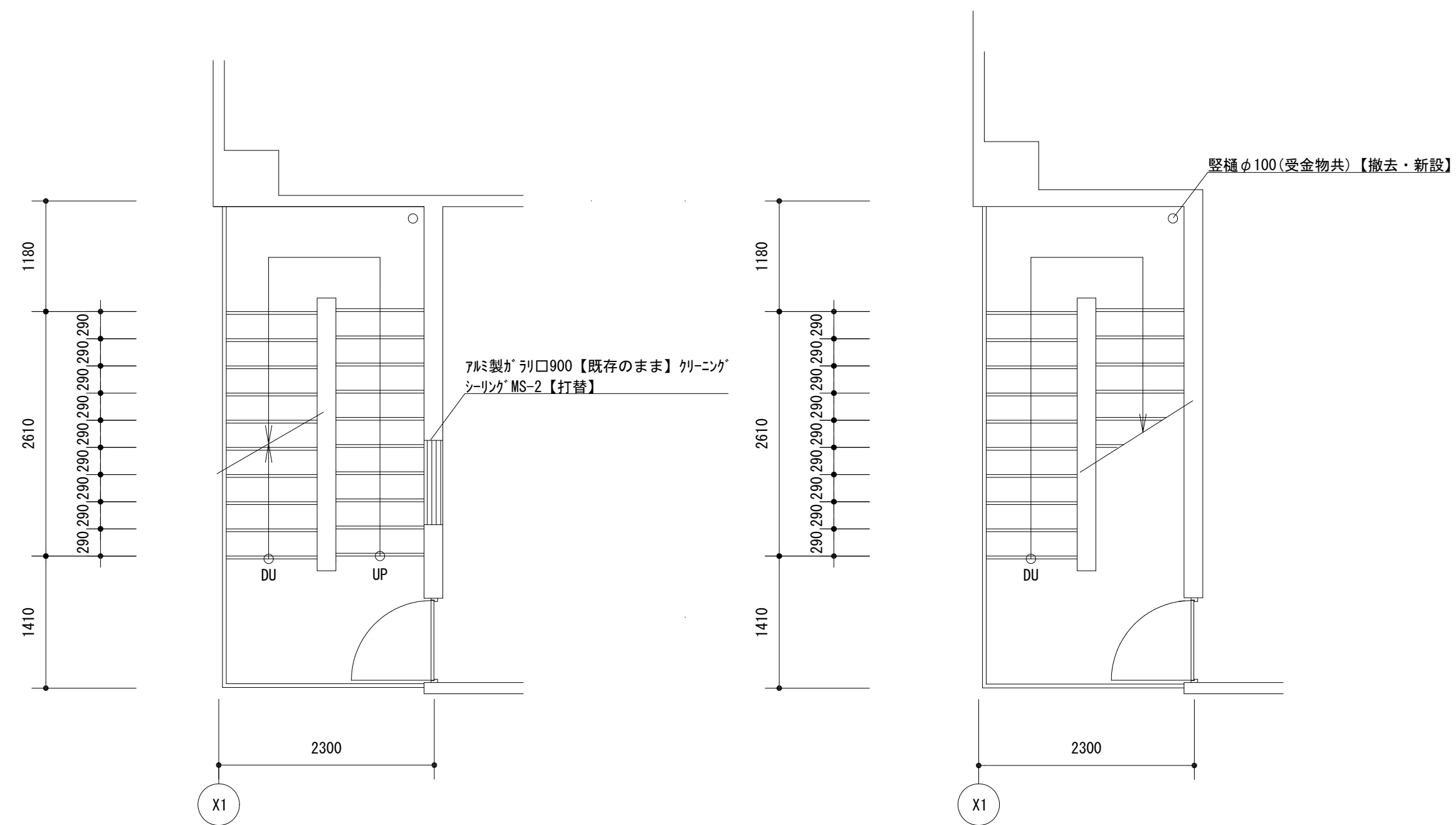
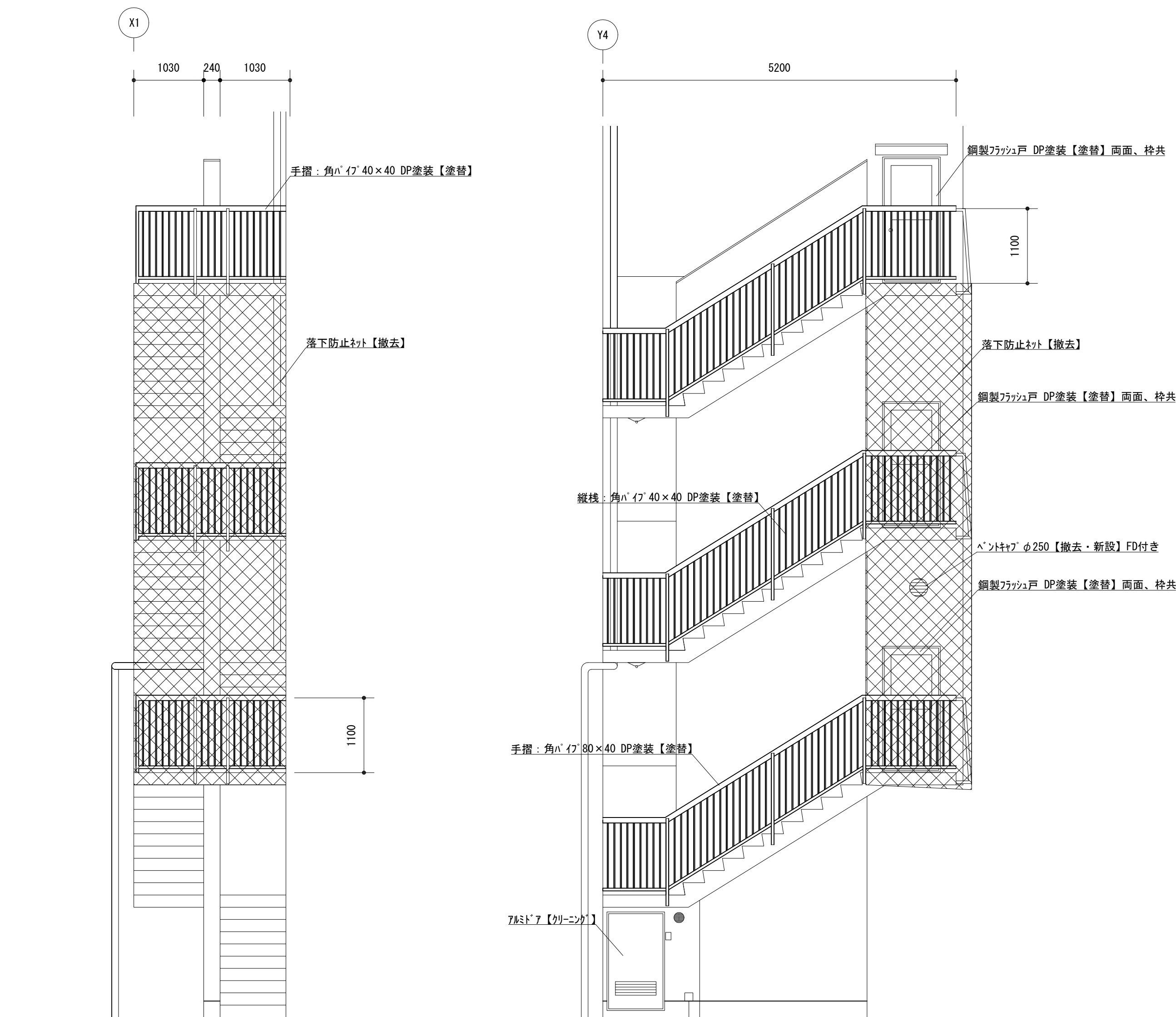
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	立面図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1：100	図面番号	A-07
松戸市 街づくり部 建築保全課			



＜凡例＞

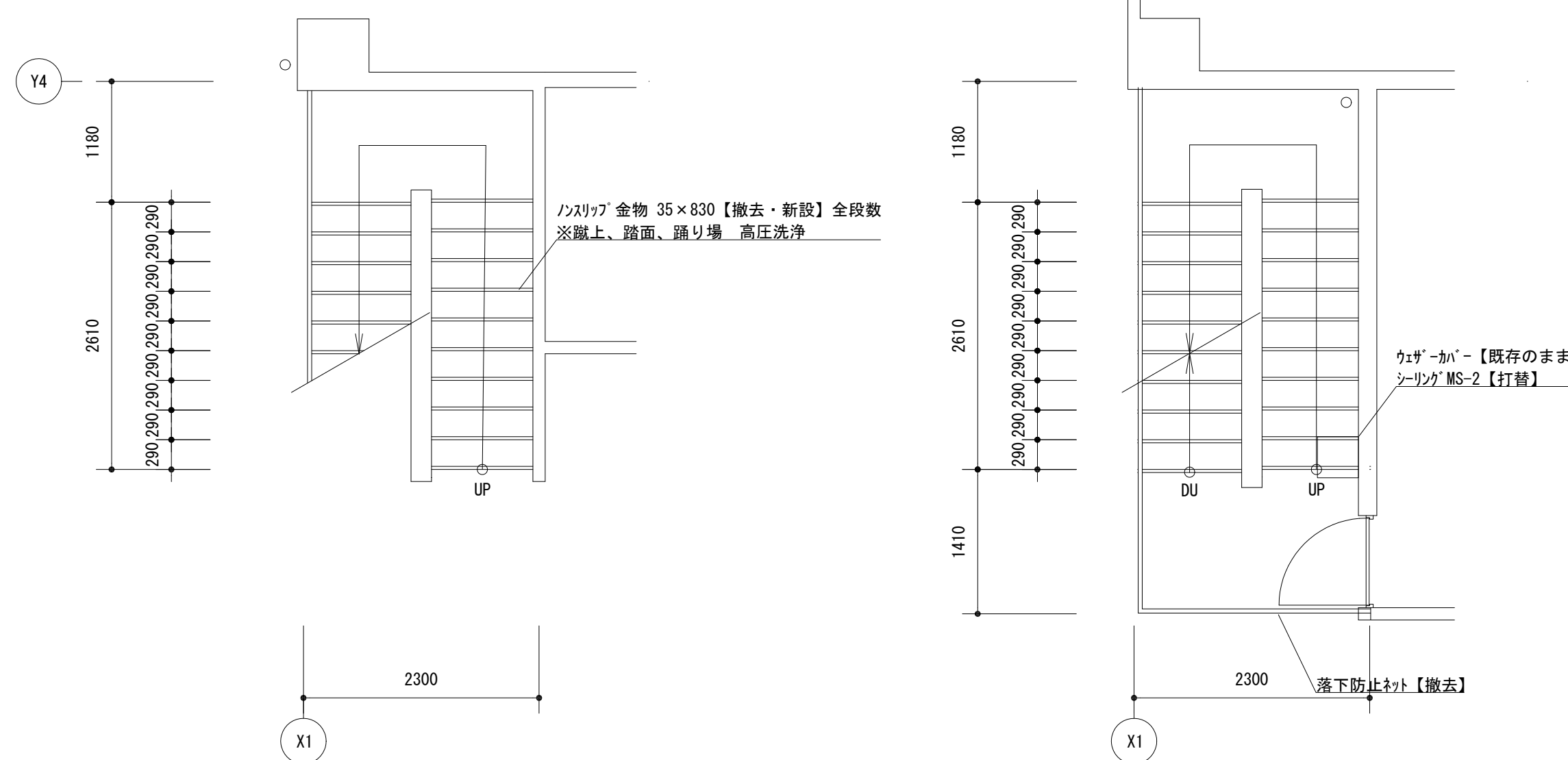
㊤	外壁	改修前	コンクリート打放し+吹付けサイディング（73%以上含有）【既存のまま】
		改修後	可とう形改修塗材E【塗替え】（補修部：下地調整C-1+複層塗材E【新設】）
㊦	巾木（H=300）	改修前	モルタル金ごて仕上げ【既存のまま】
		改修後	下地調整の上、基礎巾木仕上塗材【新設】
㊨	打継・化粧目地	改修前	シーリング 20×10【撤去】
		改修後	PU-2シーリング 20×10【打替え】
㊩	縦樋（2本 共）	改修前	カラーVP管 φ100【撤去】受金物共（㊤' はVP管のみ撤去・新設）
		改修後	カラーVP管 φ100【新設】受金物共
㊪	鋼製建具	改修前	OP塗装【既存のまま】
		改修後	DP塗装【塗替え】両面、枠共
㊫	ウェザースタッド	改修後	SUS製 □350【撤去】
		改修前	SUS製 □350【新設】
㊬	ベントキャップ	改修後	SUS製 φ100、150、250【撤去】
		改修前	SUS製 φ100、150、250【新設】FD付き
㊭	手摺	改修前	角ハイク 80×40 OP塗装【既存のまま】
		改修後	角ハイク 80×40 DP塗装【塗替え】
㊮	ブラッグ	改修前	アングル&L-65×65×6、ハーク：φ19 OP塗装【既存のまま】
		改修後	アングル&L-65×65×6、ハーク：φ19 DP塗装【塗替え】
㊯	ネットフェンス	改修前	H=1800【撤去】基礎共
		改修後	—
㊰	ガラリ	改修前	□900【既存のまま】
		改修後	□900【クリーニング】
㊱	笠木	改修前	SUS製 目地シーリング【撤去】
		改修後	SUS製 目地シーリング NS-2【新設】本体クリーニング
㊲	落下防止ネット	改修前	ホリズント【撤去】
		改修後	—
㊳	鋼管 φ100	改修前	OP塗装【既存のまま】
		改修後	DP塗装【塗替え】
	建具廻りシーリング （工事範囲全箇所打替え）	改修前	シーリング 15×10【撤去】
		改修後	シーリング 15×10【打替え】仕上げあり：PU-2 仕上げなし：MS-2
	窓ガラス （工事範囲全箇所打替え）	改修前	ガラスパネル【撤去】屋外側のみ
		改修後	SR-1【打替え】屋外側のみ ガラスクリーニング 共
※744製建具：全箇所クリーニング（屋外側のみ） ※特記なき鉄部（設備配管の支持金物（ブラケット等）等）について、DP塗装【塗替え】を行うものとする。			

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	矩計図、部分詳細図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1：100	図面番号	A-08
松戸市 街づくり部 建築保全課			



3階平面図 S=1:50

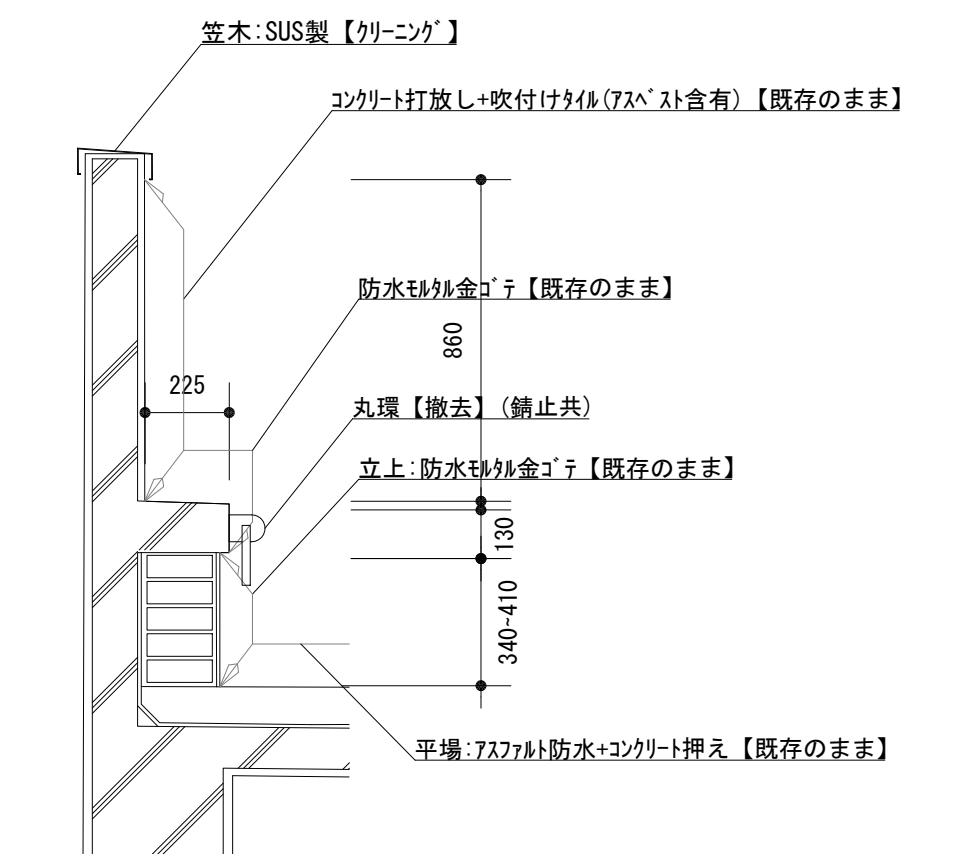
4階平面図 S=1:50



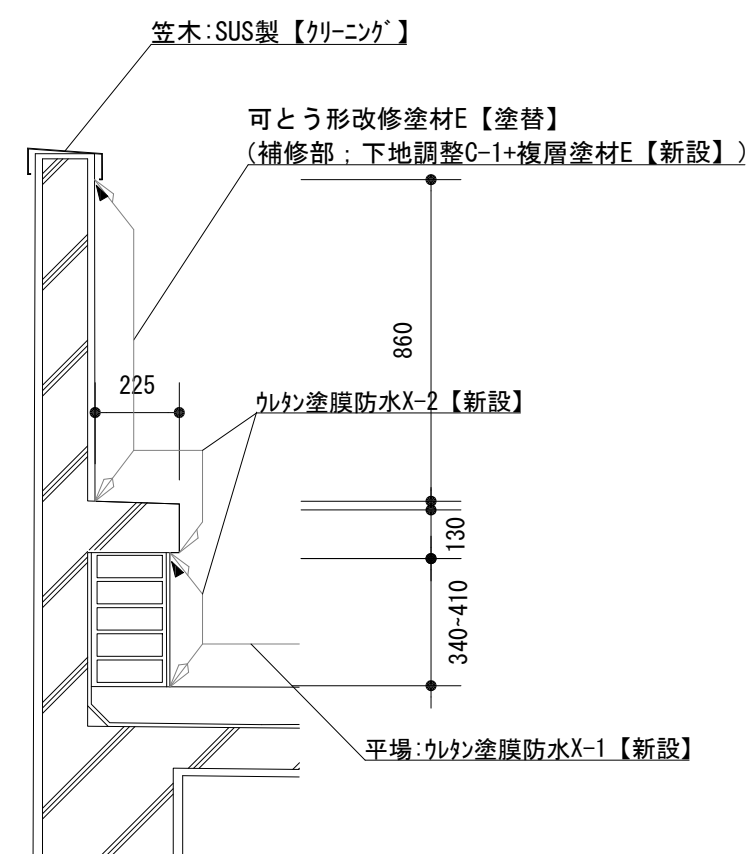
1階平面図 S=1:50

2階平面図 S=1:50

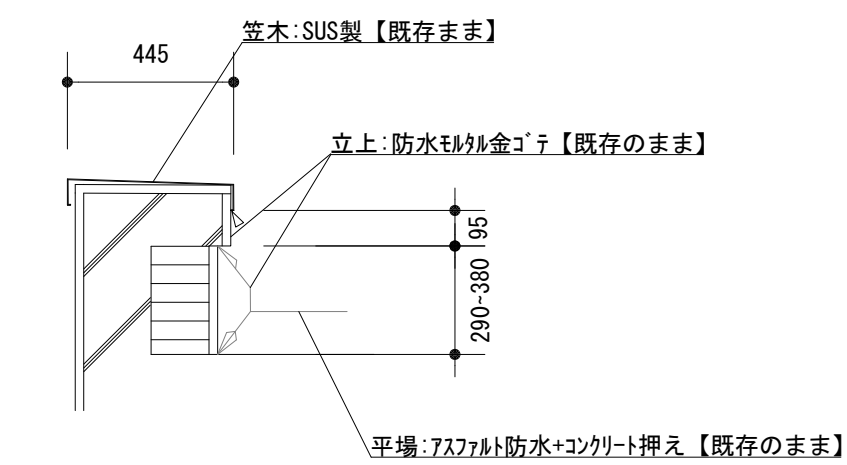
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	階段詳細図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮 尺	1 : 50	図面番号	A-09
松戸市 街づくり部 建築保全課			



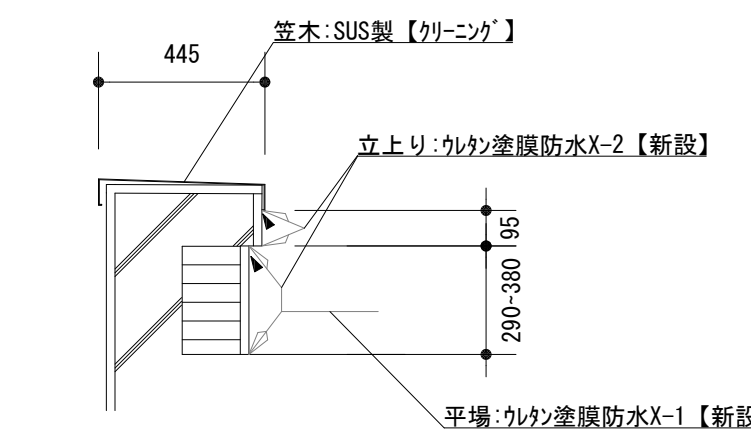
a-a' 断面詳細図 改修前 S=1:20



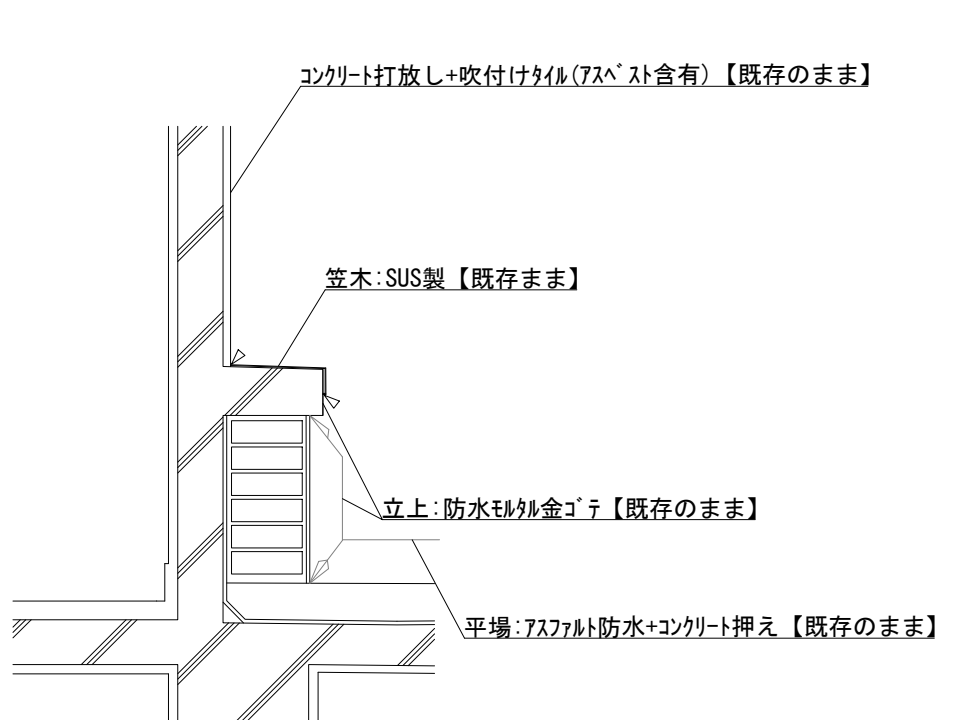
a-a' 断面詳細図 改修後 S=1:20



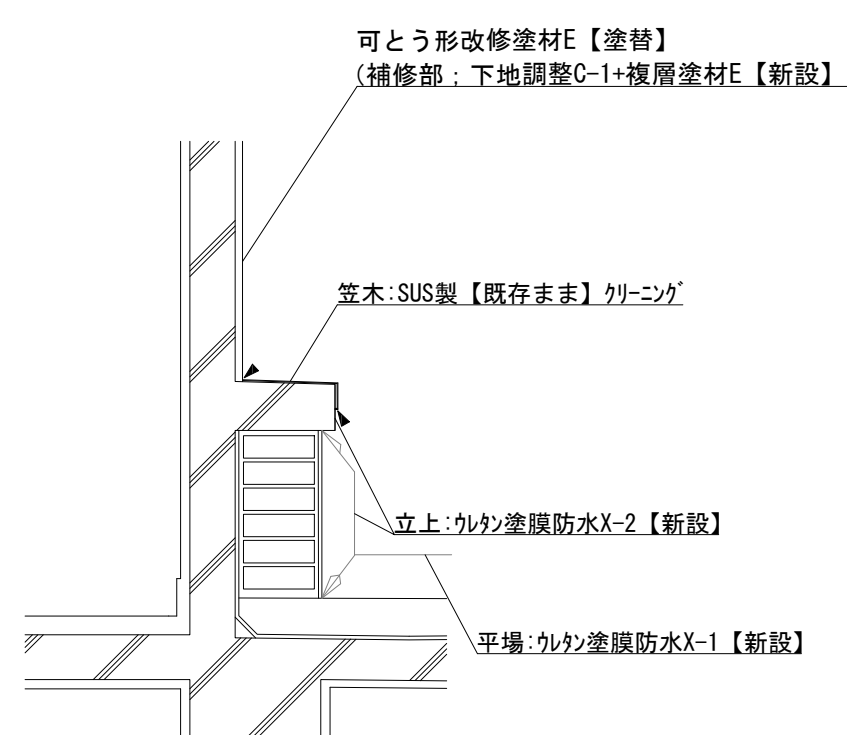
b-b' 断面詳細図 改修前 S=1:20



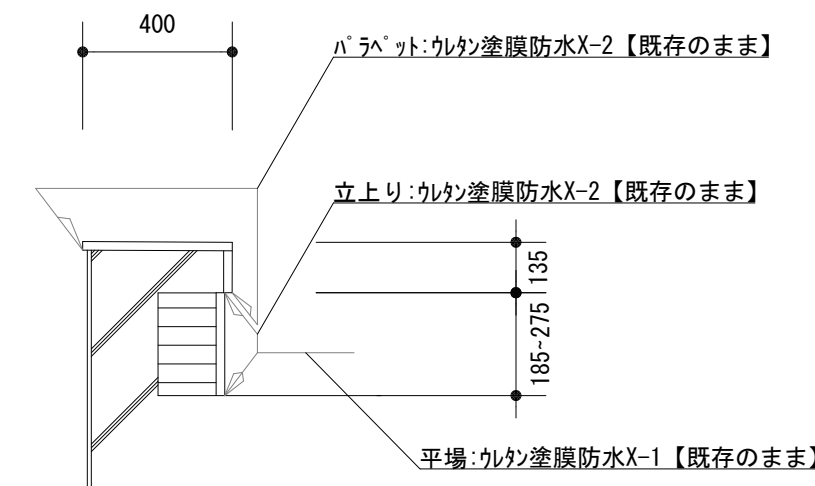
b-b' 断面詳細図 改修後 S=1:20



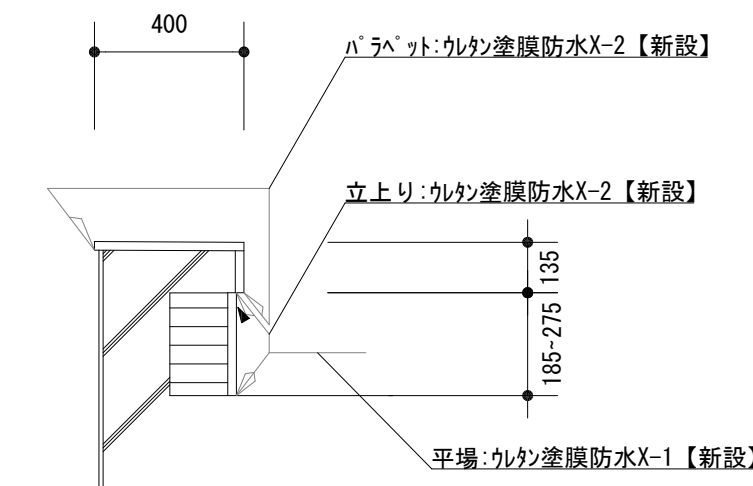
c-c' 断面詳細図 改修前 S=1:20



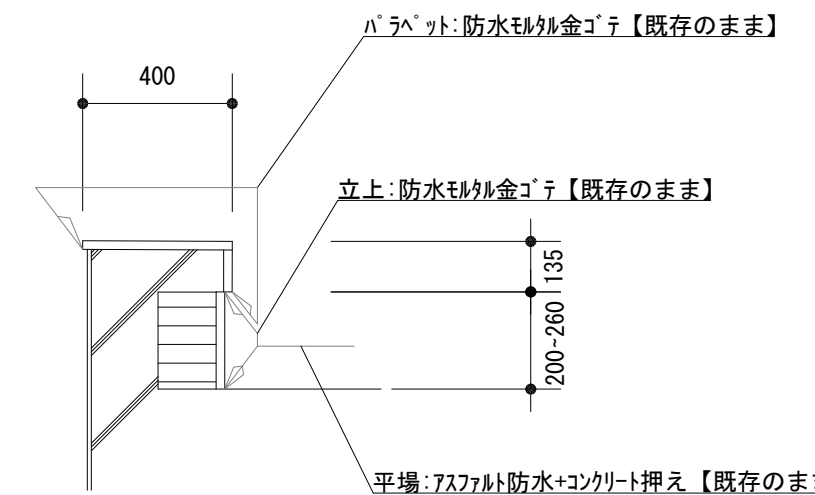
c-c' 断面詳細図 改修後 S=1:20



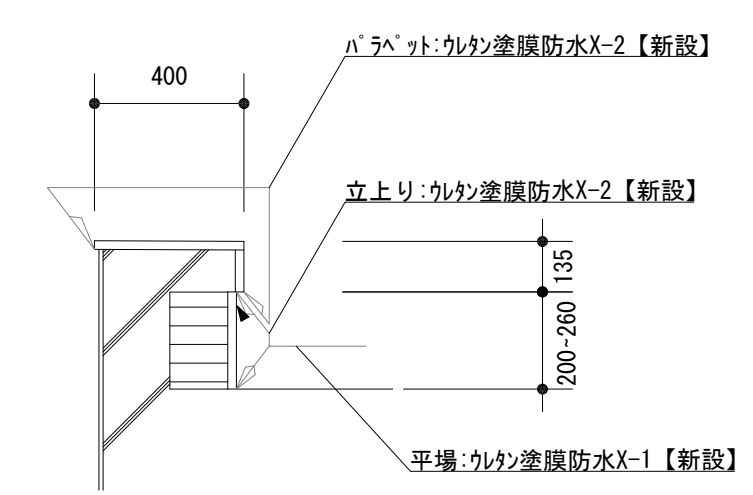
d-d' 断面詳細図 改修前 S=1:20



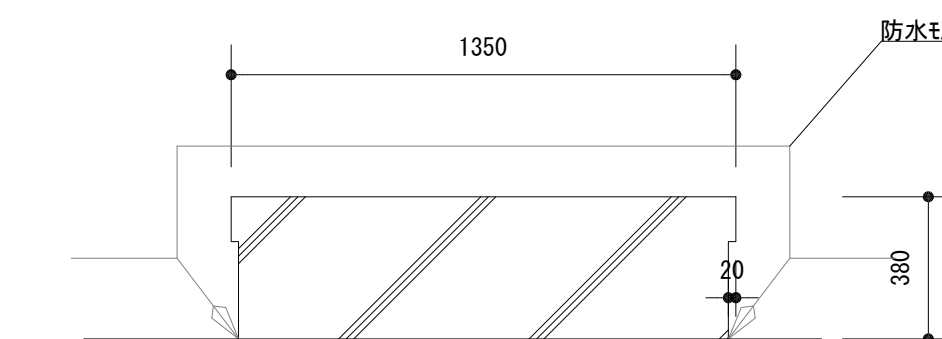
d-d' 断面詳細図 改修後 S=1:20



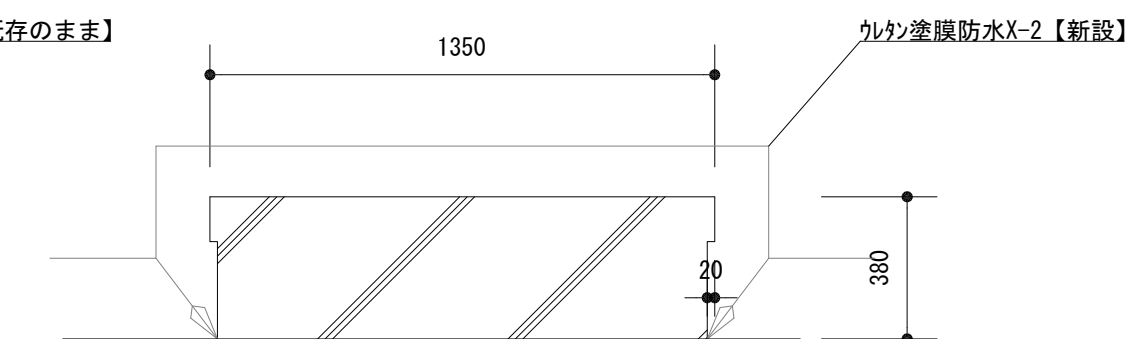
e-e' 断面詳細図 改修前 S=1:20



e-e' 断面詳細図 改修後 S=1:20



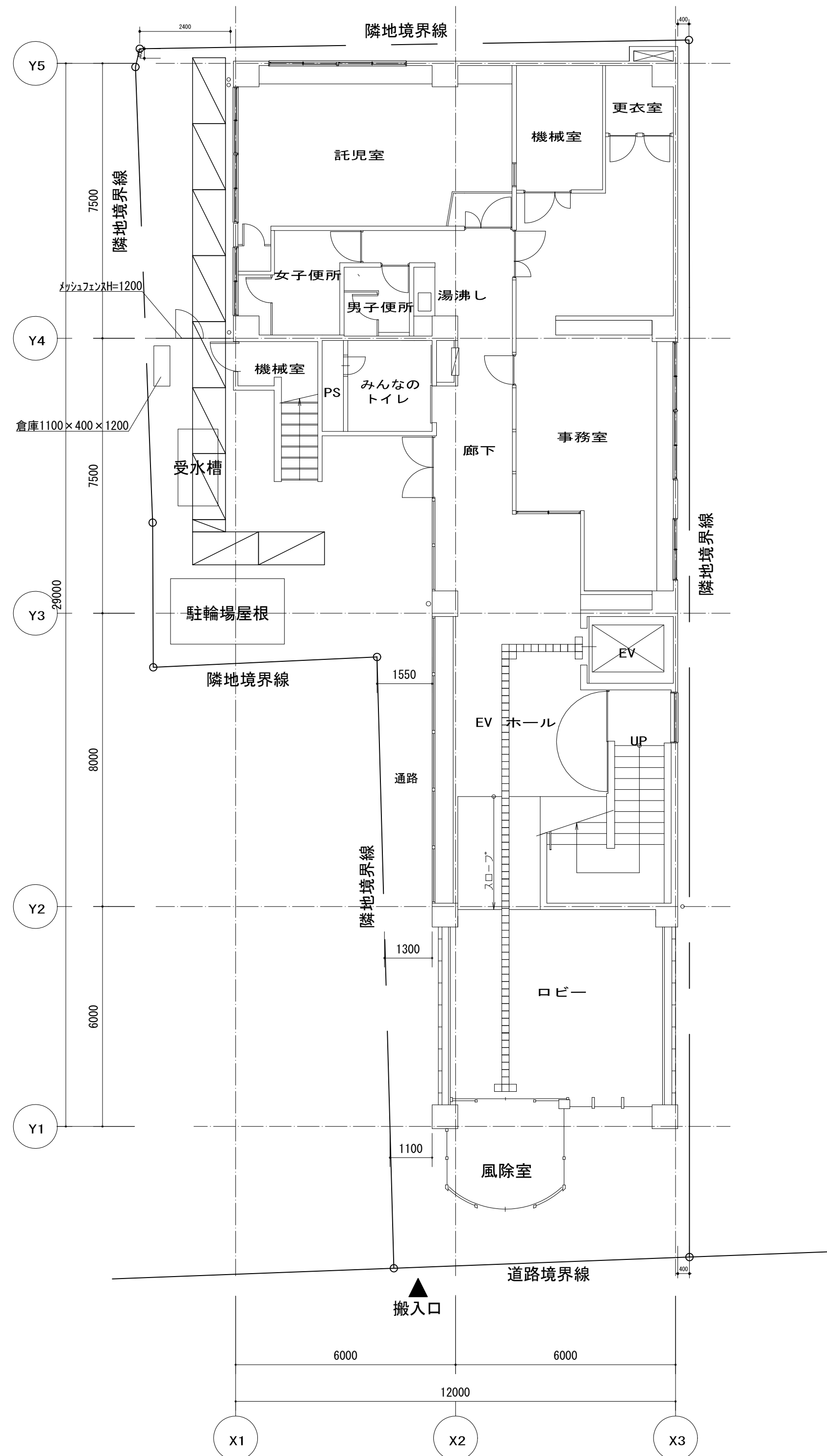
f-f' 断面詳細図 改修前 S=1:20



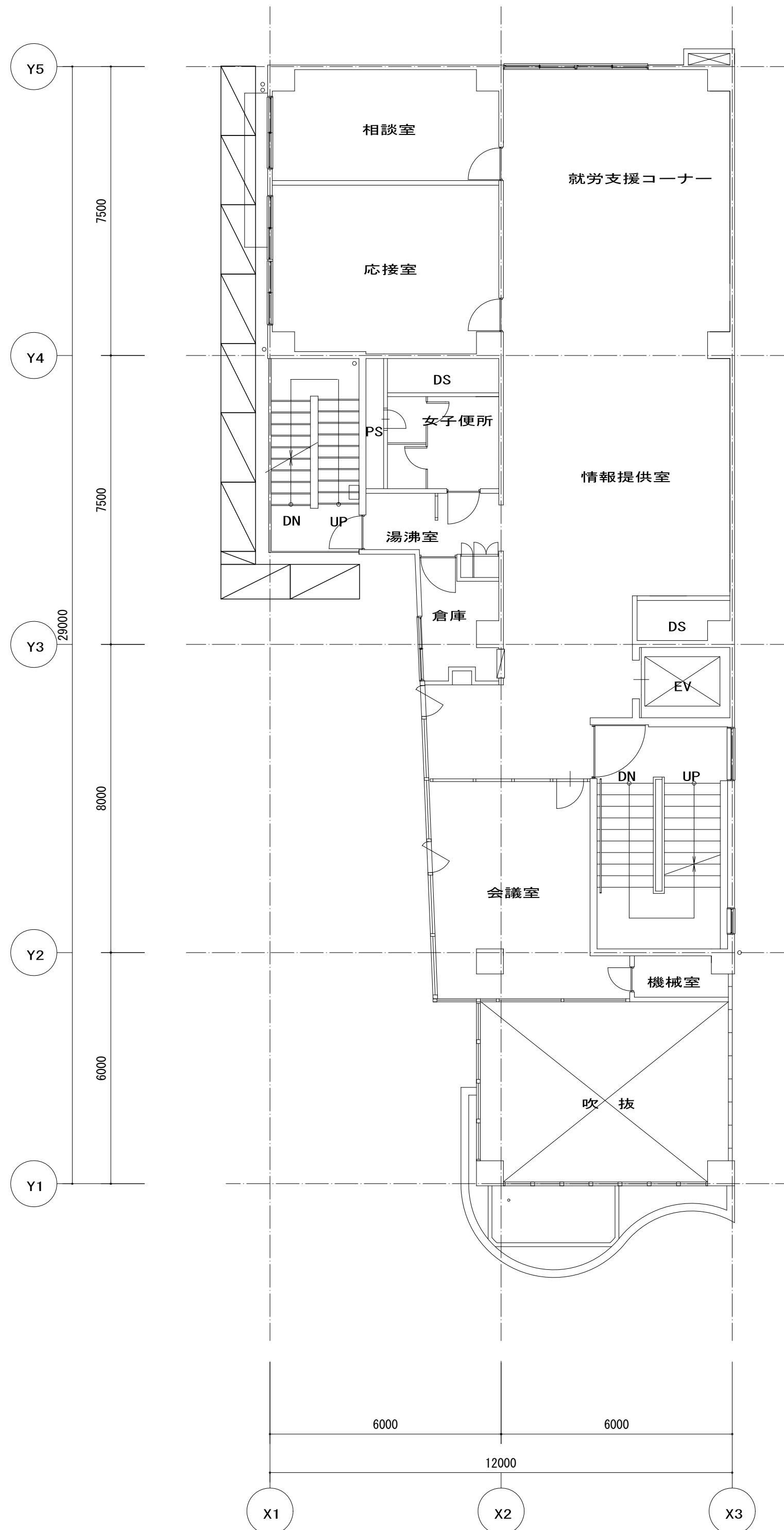
f-f' 断面詳細図 改修後 S=1:20

- ◀ : 端部シーリング 撤去
▶ : 端部シーリング 新設

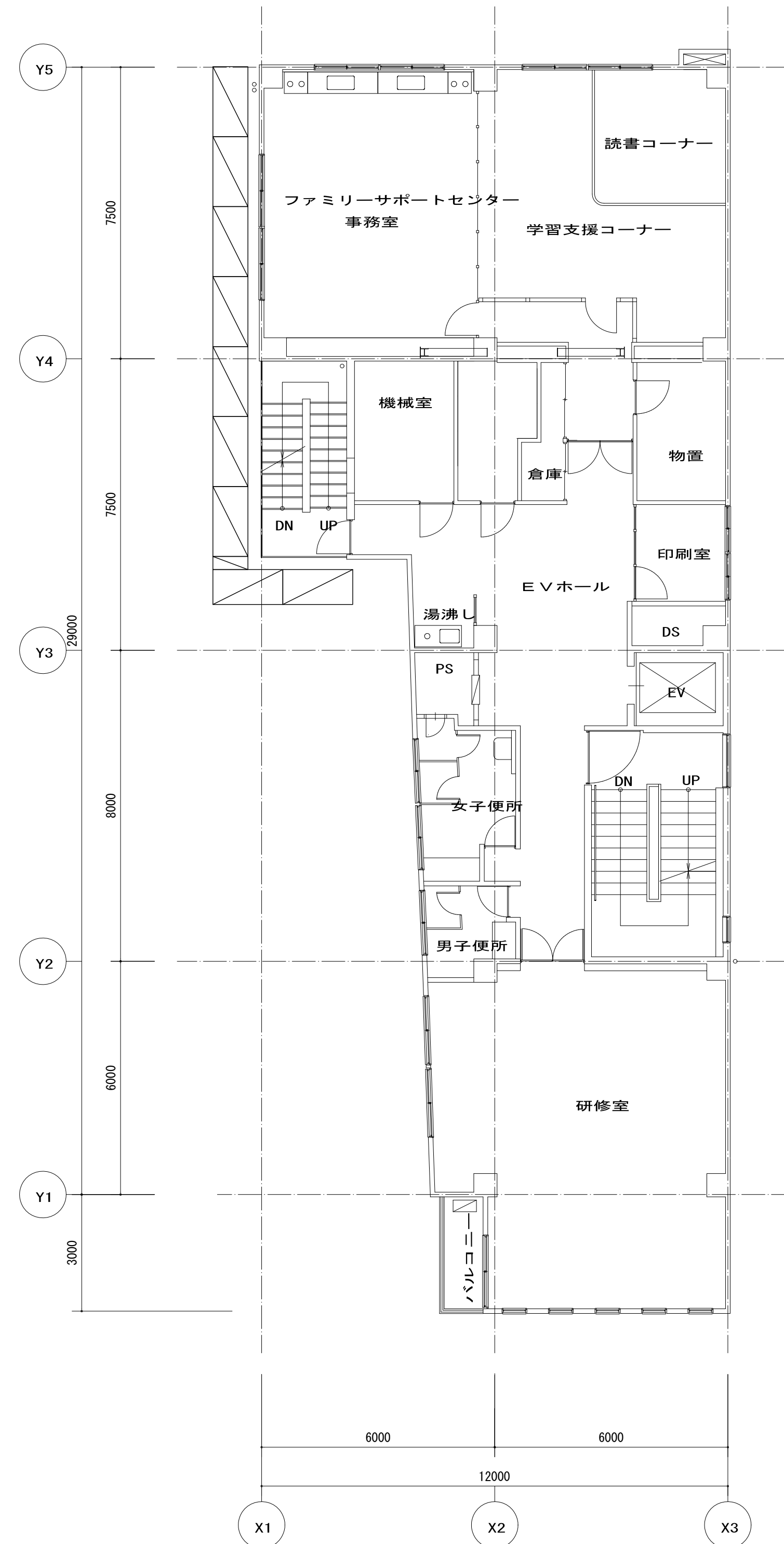
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	部分詳細図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮 尺	1 : 20	図面番号	A-10
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



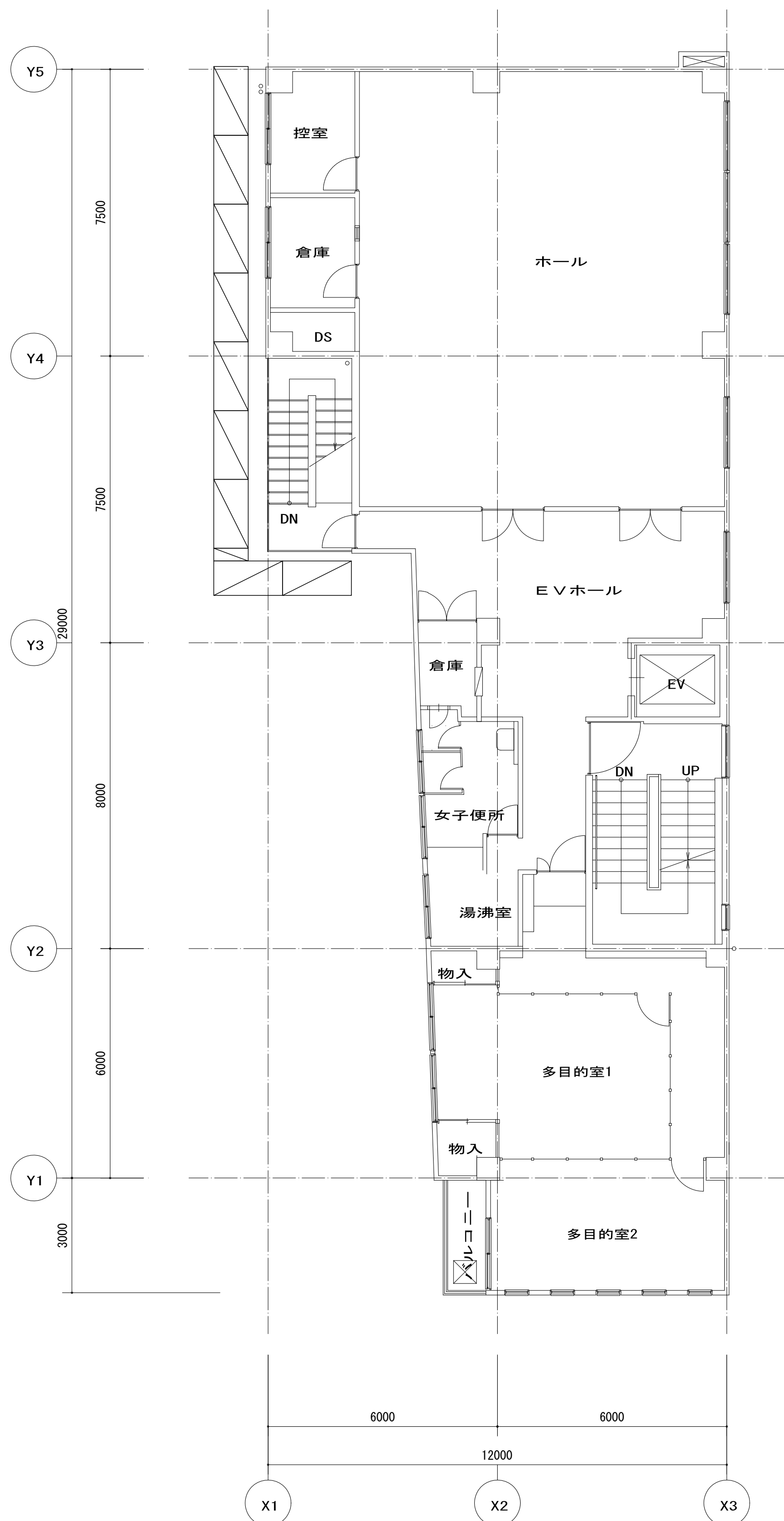
3階平面図 S=1:100

凡例

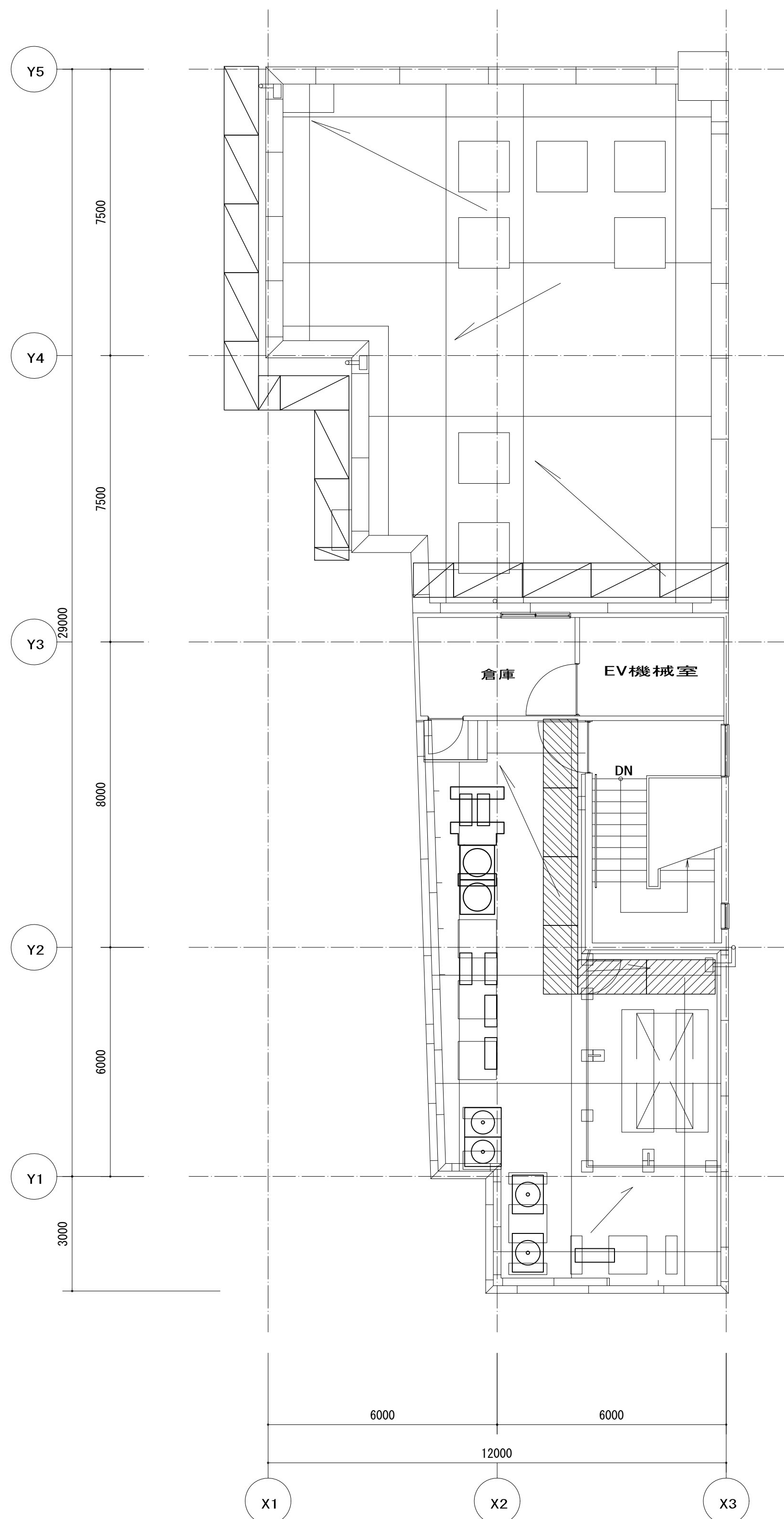
枠組み本足場 W900

※材料等の搬入時に道路を使用する場合は道路使用許可を得ること。
※地上一段目については、足場内侵入防止措置を行うこと。
※通路については、職員が使用（施設利用者はメインの出入口のみ）するため安全対策を行うこと。
※屋上での作業については、落下防止対策を適宜行うこと。

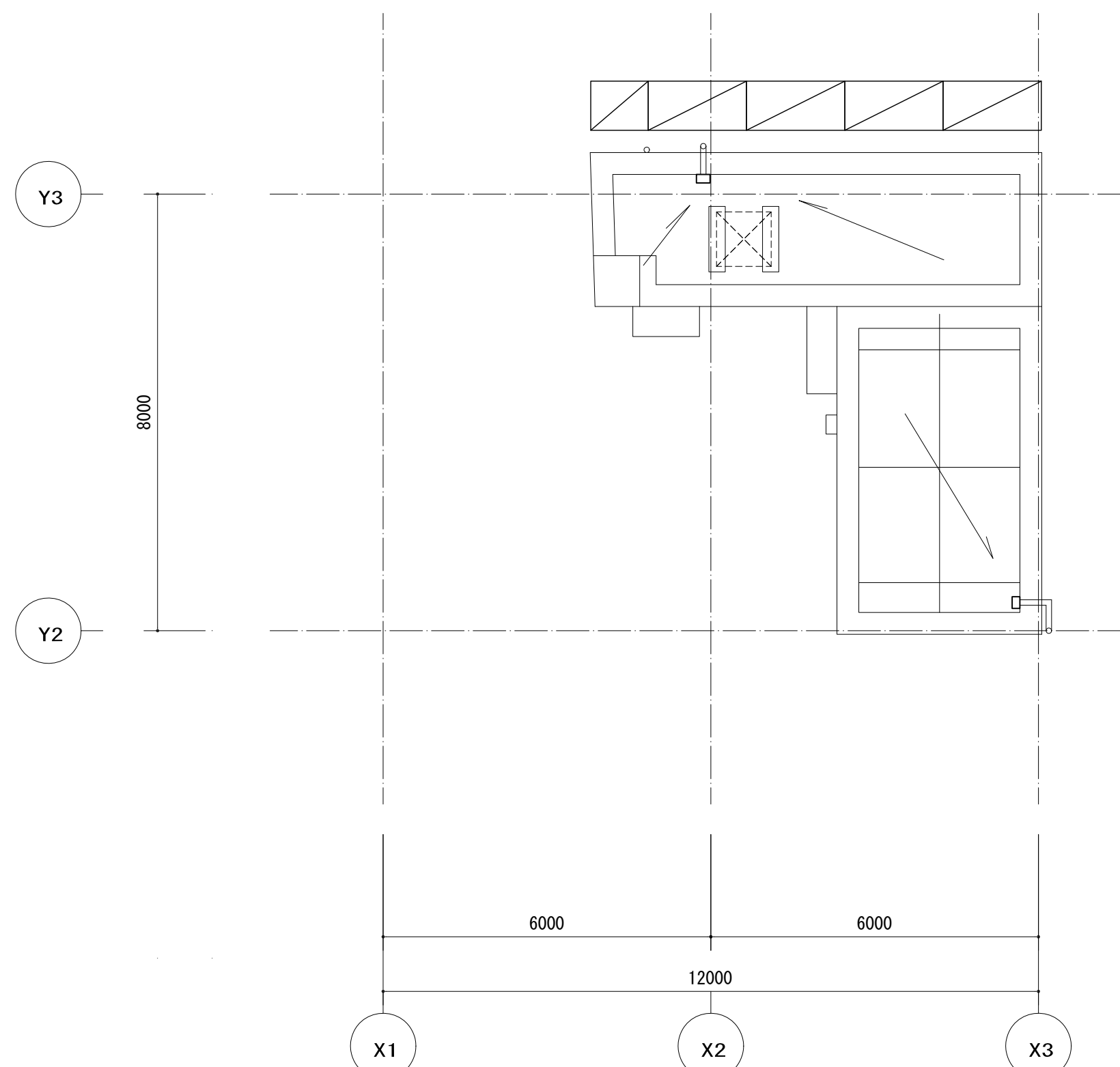
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	仮設計画図1		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-11
松戸市 街づくり部 建築保全課			



4階平面図 S=1:100



PH階平面図 S=1:100

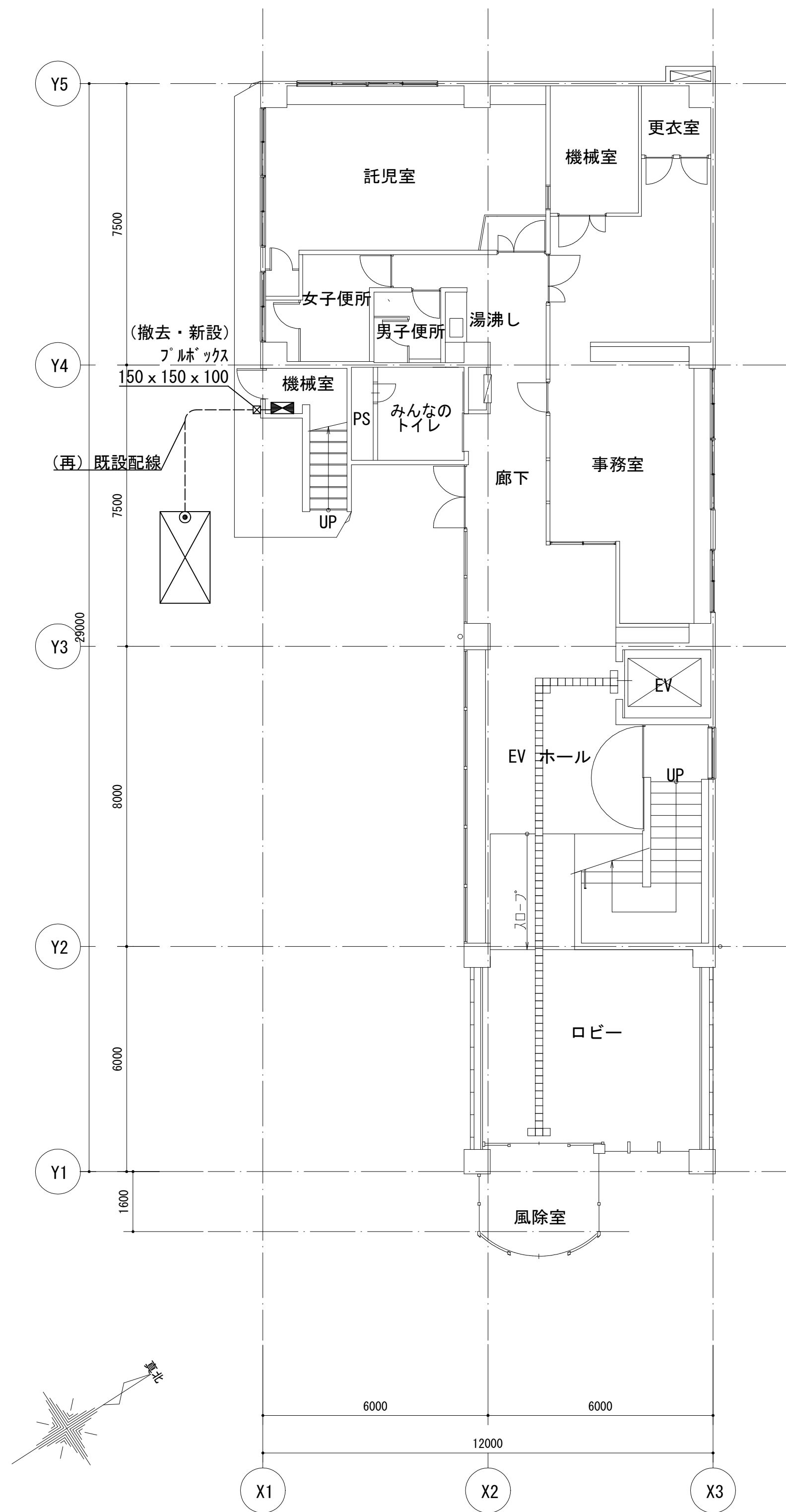


PH階屋上平面図 S=1:100

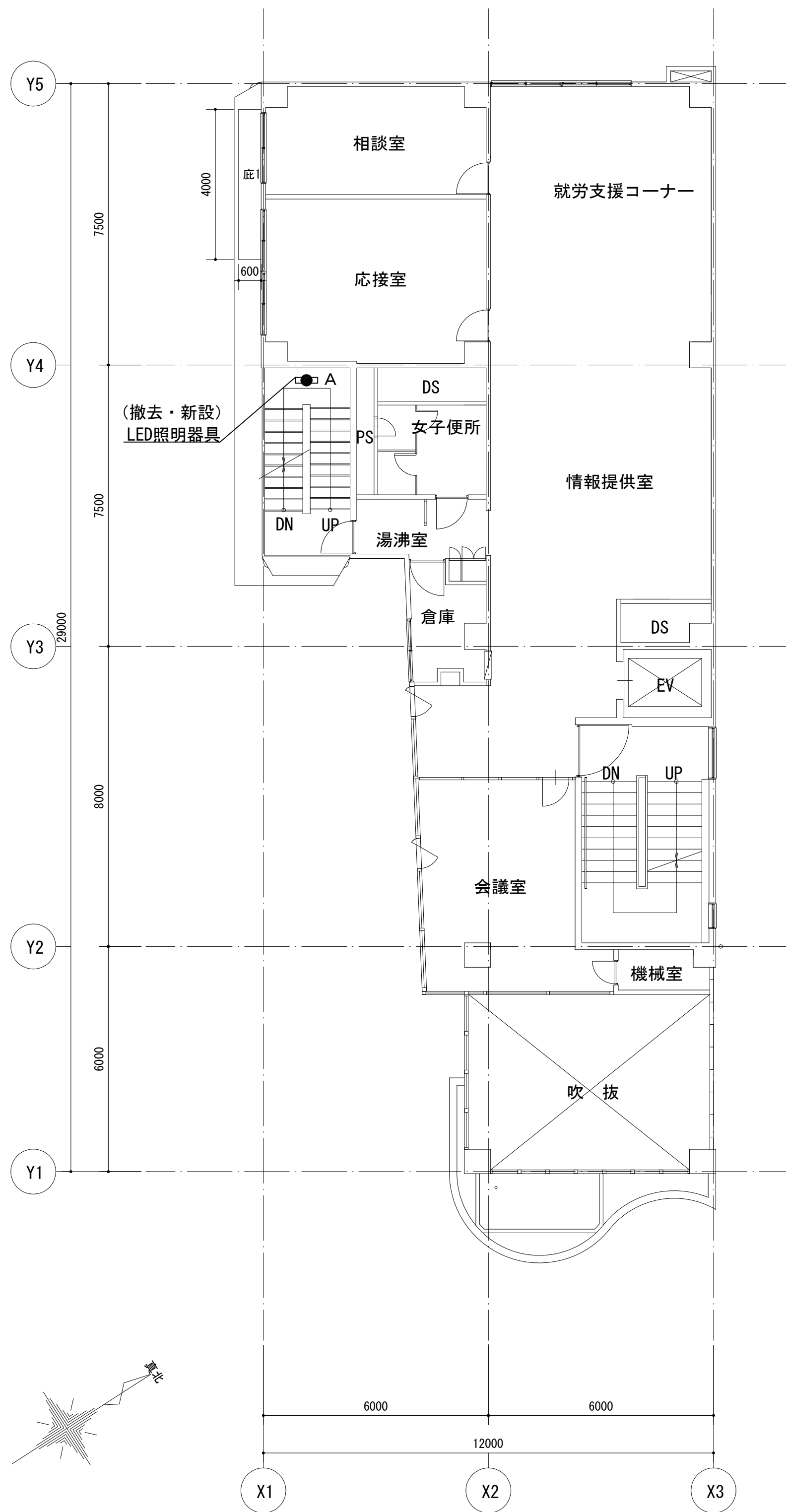
- 凡例
- 枠組み本足場 W900
 - 脚立足場

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	仮設計画図2		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-12
松戸市 街づくり部 建築保全課			

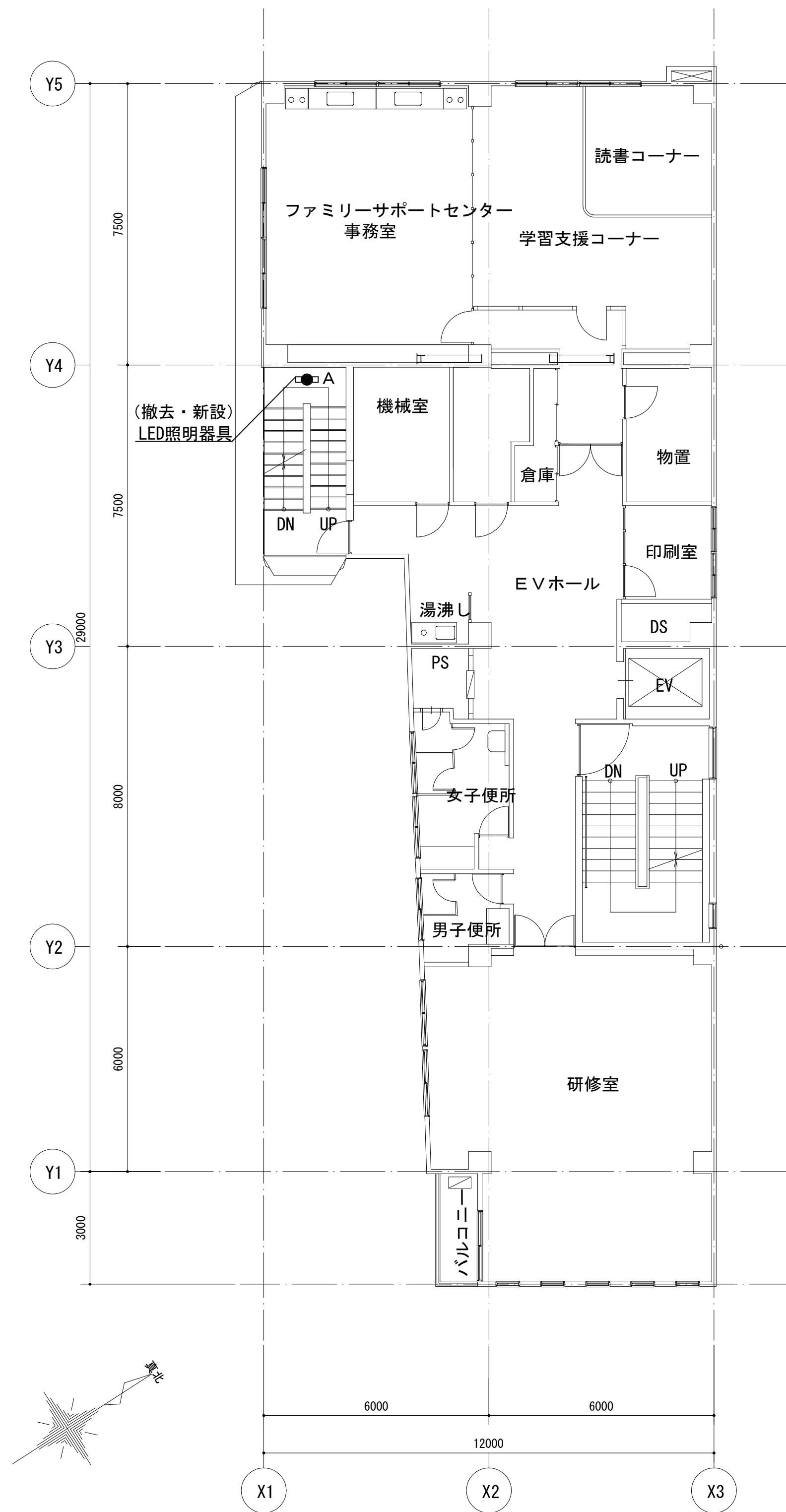
[illegible]



1階平面図 S=1:100

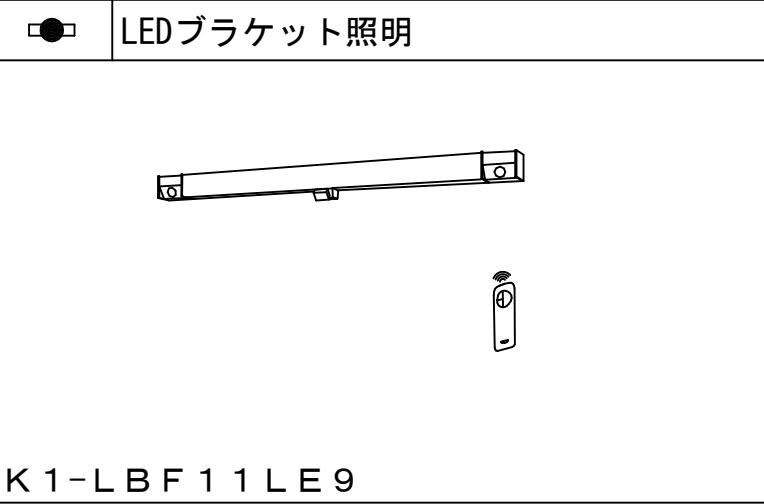


2階平面図 S=1:100



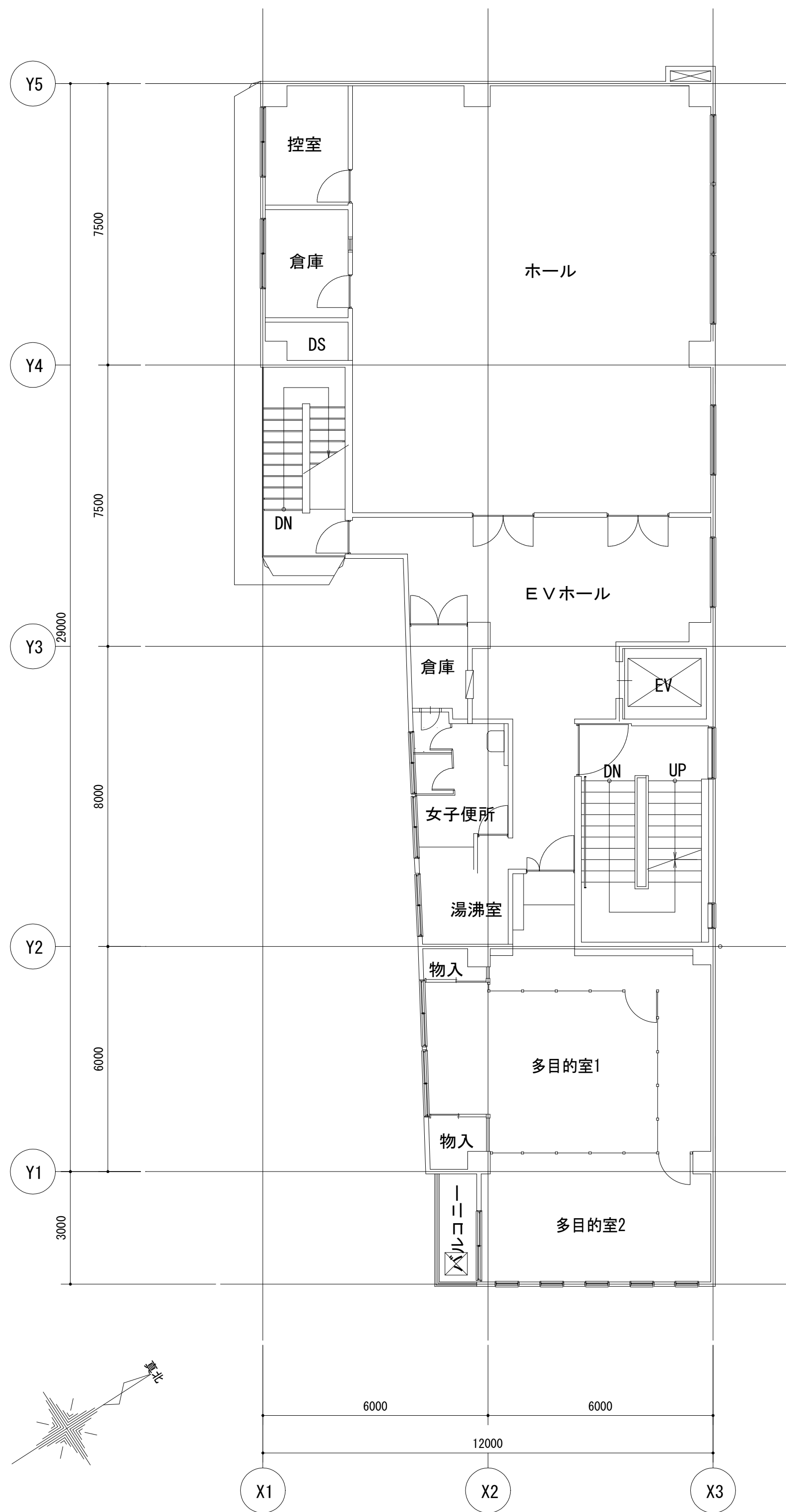
3階平面図 S=1:100

照明器具姿図

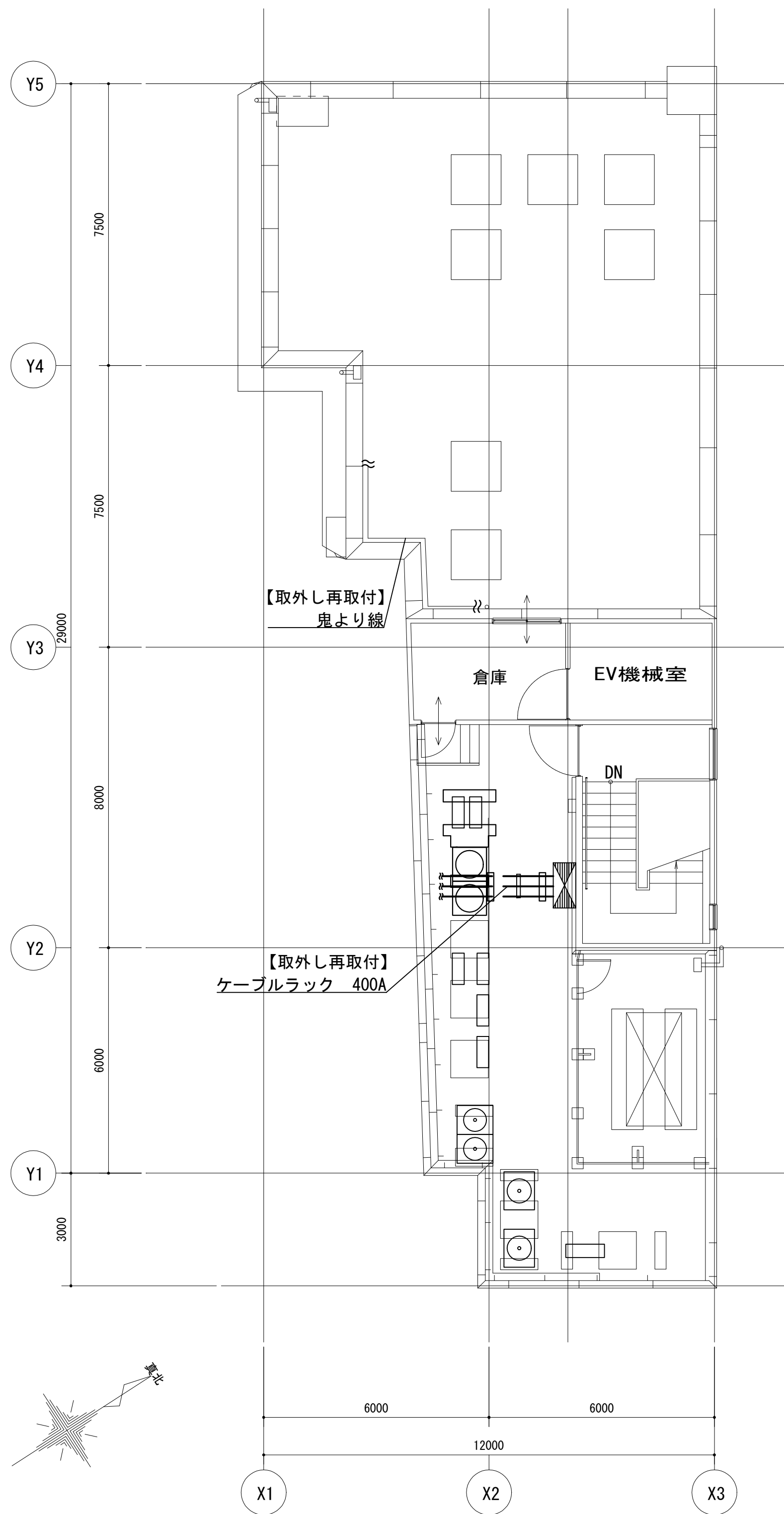


撤去器具	
A	FL20W×1 ウォールライト 2台
新設器具	
A	LEDブラケット照明 2台 公共型番：K1-LBF11LE9

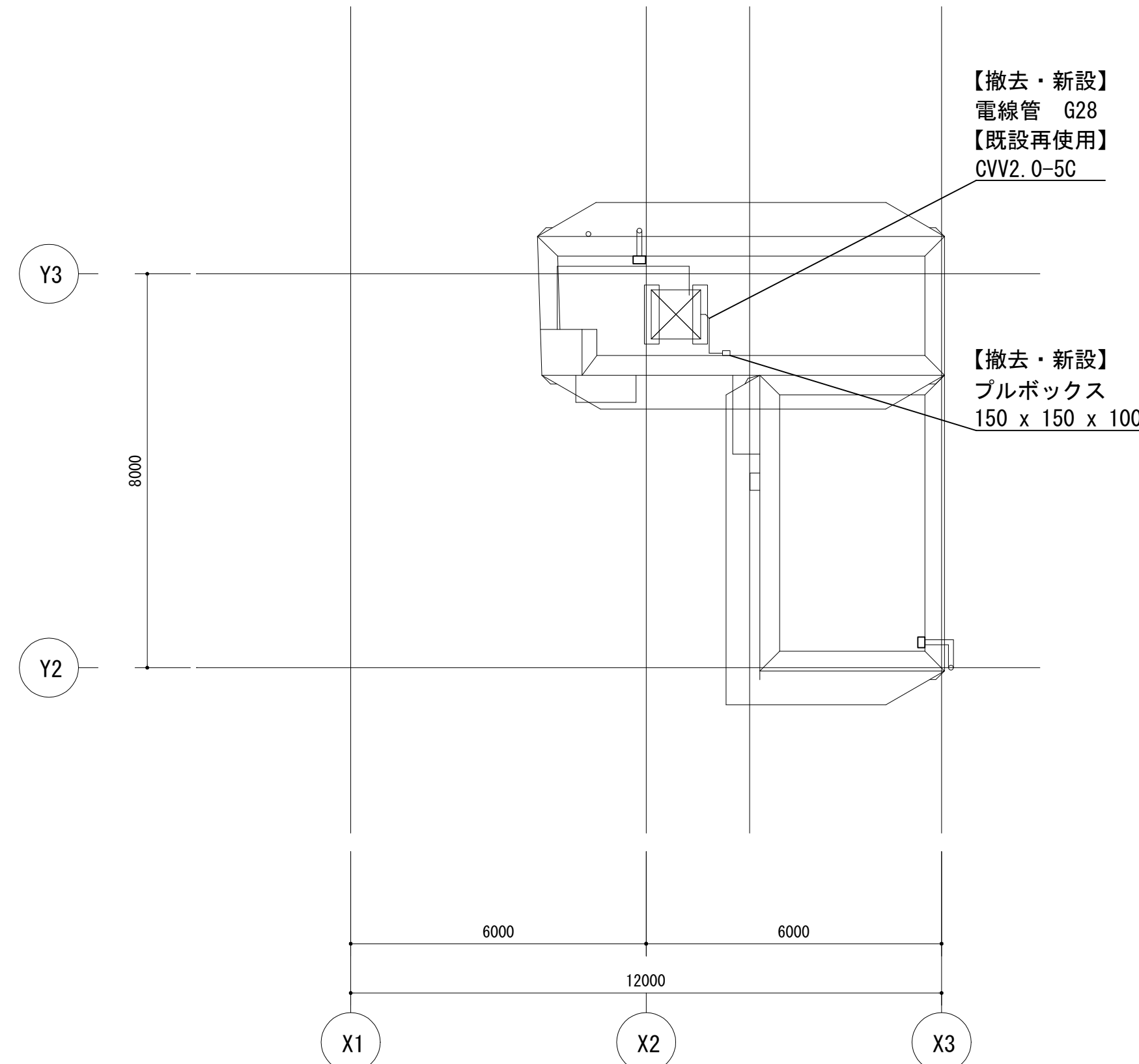
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	電気設備平面図（1階～3階）		
作成年月日	令和8年4月 日	変更年月日	
縮尺	1：100（A1）	図面番号	E-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			



4階平面図 S=1:100



PH階平面図 S=1:100



PH階屋上平面図 S=1:100

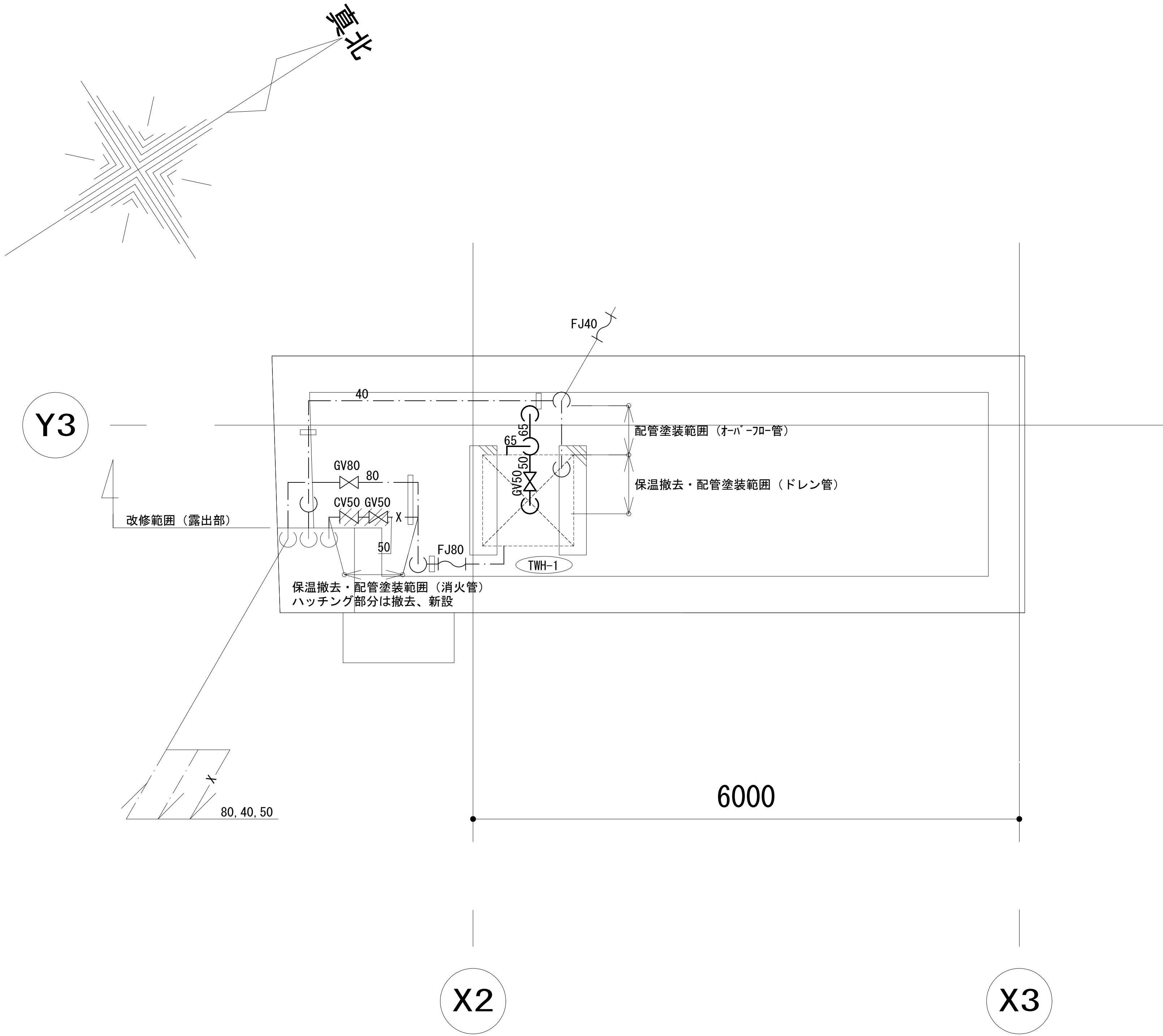
工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	電気設備平面図（4階～PH階）		
作成年月日	令和8年4月 日	変更年月日	
縮尺	1:100 (A1)	図面番号	E-03
松戸市 街づくり部 建築保全課			

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																						
○換気設備	○ダクト	○低圧ダクト（○コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500 mm以下の部分） ○アングルフランジ工法 ○スパイラルダクト）とする。 ○高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○建築基準法による厨房の火気使用室の換気ダクトの板厚は下表による。㊟ （松戸市火災予防条例 第3条の4 第1号） （松戸市火災予防条例施行規則 第3条） （単位）mm <table><tr><td colspan="3">○スパイラルダクト</td></tr><tr><td>ダクトの内径A</td><td>○垂鉛鉄板</td><td>○ステンレス鋼板</td></tr><tr><td>A ≦ 750</td><td>0.6以上</td><td>0.5以上</td></tr><tr><td>750 < A ≦ 1000</td><td>0.8以上</td><td>0.6以上</td></tr><tr><td>1000 < A ≦ 1250</td><td>1.0以上</td><td rowspan="3">0.8以上</td></tr><tr><td>1250 < A</td><td>1.2以上</td></tr><tr><td colspan="3">○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwh以下のもの）</td></tr><tr><td>ダクトの長辺A</td><td>○垂鉛鉄板</td><td>○ステンレス鋼板</td></tr><tr><td>A ≦ 300</td><td>0.6以上</td><td rowspan="2">0.5以上</td></tr><tr><td>300 < A ≦ 450</td><td>0.6以上</td></tr><tr><td>450 < A ≦ 1200</td><td>0.8以上</td><td rowspan="2">0.6以上</td></tr><tr><td>1200 < A ≦ 1800</td><td>1.0以上</td></tr><tr><td>1800 < A</td><td>1.2以上</td><td>0.8以上</td></tr><tr><td colspan="3">○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwhを超えるもの）</td></tr><tr><td>ダクトの長辺A</td><td>○垂鉛鉄板</td><td>○ステンレス鋼板</td></tr><tr><td>A ≦ 450</td><td>0.6以上</td><td rowspan="2">0.6以上</td></tr><tr><td>450 < A ≦ 1200</td><td>0.8以上</td></tr><tr><td>1200 < A ≦ 1800</td><td>1.0以上</td><td rowspan="2">0.8以上</td></tr><tr><td>1800 < A</td><td>1.2以上</td></tr></table> （上表によるダクト板厚、及び板の材質の適用範囲は図示による。） 取付箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。 ○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ○厨房系統 ○ 空気調和設備の当該項目による。 ㊟○ 全熱交換ユニット用の0Aダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁吸込口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 ㊟○ 一般の0Aダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲はすべてとし、保温仕様は別表-2による。 ㊟○ 全熱交換ユニット用のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁排気口から全熱交換ユニット間、保温仕様は別表-2による。 ㊟○ 一般のEAダクト ○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。 ○保温範囲は外壁から1m、保温仕様は別表-2による。 ㊟○ 多温箇所のダクトの保温要 （○保温の厚さ25mm、範囲は図示による。○） ㊟○ （○厨房 ○湯沸室 ○調理室）の保温要 （保温範囲は屋内系統ダクトすべてとし、保温仕様は別表-2による。） ㊟○ 換気用ダクト（保温厚25mm）㊟ ㊟○ 外気取り入れ用（保温厚25mm）㊟ ㊟○ 給気排気用ダクト（保温の厚さ25mm・外壁より1 m）㊟ ㊟○ ロックウール（厚さ50mm）（厨房等で火気使用機器用の排気ダクト）㊟	○スパイラルダクト			ダクトの内径A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板	A ≦ 750	0.6以上	0.5以上	750 < A ≦ 1000	0.8以上	0.6以上	1000 < A ≦ 1250	1.0以上	0.8以上	1250 < A	1.2以上	○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwh以下のもの）			ダクトの長辺A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板	A ≦ 300	0.6以上	0.5以上	300 < A ≦ 450	0.6以上	450 < A ≦ 1200	0.8以上	0.6以上	1200 < A ≦ 1800	1.0以上	1800 < A	1.2以上	0.8以上	○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwhを超えるもの）			ダクトの長辺A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板	A ≦ 450	0.6以上	0.6以上	450 < A ≦ 1200	0.8以上	1200 < A ≦ 1800	1.0以上	0.8以上	1800 < A	1.2以上	●配管材料 ●消火設備 ○厨房設備 ○ガス設備 ○排水設備 ○雨水利用設備 ○排水処理設備 ●撤去工事	(1) 屋内消火栓 一般 ●配管用炭素鋼鋼管（SGP白） ○ 地中 ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ (2) 連結送水管 一般 ○圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（sch40） ○広範囲型2号消火栓 地中 ○易操作性1号消火栓 ○1号消火栓 ○2号消火栓 ○10K ○ ○屋外露出部分 ○あり（標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ウ)・Ⅳ） ○なし 別図による。 ○不活性ガス消火設備 ○泡消火設備 ○泡消火設備 ○システム ○機器の機能等 ○配管材料 ○充てん容器 ○集合装置 ○転倒防止等 ○メーター ○ガス漏れ警報器 ○漏洩検知装置 ○電気防食 ○引込負担金等 ○システム構成その他 ○配管材質 ○弁類 ○雨水抑制施設㊟ ○排水処理 ○仕様等 ○設置方式 ●●撤去内容 ●●保温材 ●●支持金物等 ●●撤去跡処理㊟	○ドライシステム ○ 図示による。 ○都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○液化石油ガス (1)一般 ○ (2)地中 ○ 別途（○50kg ○ ○）× 本 ○標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による 本組。 ○標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（○(a) ○(b)）による。 ○観メーター（貸与品）（○直読式 ○バルス式（バルス発信器は ○買い取り） ○チメーター（買い取り）（○直読式 ○バルス式） ○本工事（図示による） ○別途工事 外部警報端子（○ 無 ○ 有） ○要 ○不要 ○要 ○不要 ○要（○別途工事 ○本工事） ○不要 別図による。 (1) 一般配管 ○ (2) 集水管 ○ JIS又はJV（○SK ○ ） ○ 雨水浸透桝（○ ○ ） ○ 雨水浸透管（○ ○ ） ・松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。 別図による。 ○排水再利用 ○浄化槽 ○厨房除害 ●●図示による。 保温材は、配管・ダクト等より分離する。 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。 撤去跡は、塗装及び防食処理等を行うこと。また雨水の浸入などが生じる場所及び部分については防水処理を行うこと。		
○スパイラルダクト																																																											
ダクトの内径A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板																																																									
A ≦ 750	0.6以上	0.5以上																																																									
750 < A ≦ 1000	0.8以上	0.6以上																																																									
1000 < A ≦ 1250	1.0以上	0.8以上																																																									
1250 < A	1.2以上																																																										
○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwh以下のもの）																																																											
ダクトの長辺A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板																																																									
A ≦ 300	0.6以上	0.5以上																																																									
300 < A ≦ 450	0.6以上																																																										
450 < A ≦ 1200	0.8以上	0.6以上																																																									
1200 < A ≦ 1800	1.0以上																																																										
1800 < A	1.2以上	0.8以上																																																									
○矩形ダクト（厨房設備の入力が21Kwhを超えるもの）																																																											
ダクトの長辺A	○垂鉛鉄板	○ステンレス鋼板																																																									
A ≦ 450	0.6以上	0.6以上																																																									
450 < A ≦ 1200	0.8以上																																																										
1200 < A ≦ 1800	1.0以上	0.8以上																																																									
1800 < A	1.2以上																																																										
○風量測定口 ○ダンパー ○排気ダクトのシール ○チャンバー ○保温㊟																																																											
○ダクト ○排煙鋼の形式 ○排煙口手動解放装置（解放及び復帰方式） ○排煙風量測定	○垂鉛鋼板 ○普通鋼板（厚1.6mm） ○図示による。 ○電気式（遠隔操作 ○要 ○不要） ○ワイヤー式 建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。																																																										
○中央監視制御装置 ○システム構成・機能 ○電気計装用配線	○有（○新設 ○既設） ○無 ○有（○新設 ○既設） ○無 電線及びFEMケーブルは、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。 屋外・屋内露出の電線は、図示に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠べいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。																																																										
○自動洗浄装置 及びその組み込み 小機器 ○標記板 ○自動水栓の 電源供給方式 ○衛生器具ユニット ○衛生器具付属水栓	○個別感知フラッシュ方式（○AC電源 ○自己発電） ○要（材質： ）（○大便器 ○小便器 ○） ○AC電源 ○自己発電 ○図示による。 水抜栓を使用する場合は、水栓は固定こま式とする。																																																										
●給水設備	○配管材料 (1) 一般配管 ○塩ビライニング鋼管（VA、VB） ○ ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ (2) 地中埋設配管 ○塩ビライニング鋼管（VD） ○ ○ステンレス鋼鋼管（SUS316） ○ (3) 給水引込管 ○引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、（ ）とし、他の部分は(1)による。 ○観メーター（貸与品） ○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（（○電文式 ○） ○チメーター（貸与品） ○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（（○電文式 ○） 図示の位置に取付ける。 JIS 又は JV ○ 水道直結部分（○ 10K ○） ○ その他の部分（○ 5K ○） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （○ただし、屋外に設ける水栓は耐寒栓とする） ○管の上端より原則として、一般敷地は（ cm）構内道路は（ cm）以上とする。 ○合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ○人造石研ぎ出し製 ○ステンレス鋼製 ○要 ○別途工事 ○本工事 ○不要 ●配管材料 (1) 屋 内 汚 水 管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ 雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ 通気管 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ポンプアップ排水管 ○排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 ○ 第一桝まで ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ○水配管用亜鉛メッキ鋼管（SGPW） 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床土部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル（RF-VP）とする。 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 ○ 標準仕様書第2編 2.4.8(f)による。 ○ 図示の箇所に取り付ける。 ○ プラスチック桝（○ ○ 標準図による。） ○ コンクリート桝（○ ○ 標準図による。） ○ 雨水浸透桝（○ ○ ） ○ 雨水浸透管（○ ○ ） ○ 松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱に準じる。																																																										
○洗面器等の排水管 ○洗面器等の排水管 ○漏水試験継手 ○インバート桝・ため桝㊟ ○雨水抑制施設㊟																																																											
○給湯設備	○配管材料 ○ステンレス鋼鋼管（SUS304） ○ JIS 又は JV（○ 5K ○ 10K（図示部分）） ○ ○ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5のh・(イ)・取とする。																																																										
別表－2 保温工事仕様			＊ 適用する保温区分（ ● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。）																																																								
区 分	項 目	施 工 箇 所	保温材 GW RW PSF	保 温 仕 様	外装材 ｶｰｰSUS AL																																																						
給排水衛生設備配管	給排水衛生設備配管	給水管	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	給水管	排水管・通気管	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	排水管	給湯管	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	給水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	排水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	通気管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	給水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	排水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	給水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
	排水管	（屋外露出、床下、暗渠内は除く。）	○ ○ ○	保温材	－	－																																																					
給排水衛生設備機器	鋼製タンク	屋内	○ ○ ○	鉄（PSFの場合板又は接着剤） ＋保温板（厚さ25mm）	○	－																																																					
	鋼製タンク	屋外	○ ○ ○	＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	－	○																																																					
	排気筒	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ25mm）	○	－																																																					
	貯湯タンク	屋外	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ25mm）	○	－																																																					
	排気筒	隠ぺい箇所	－ ○ ○	保温材（厚さ50mm）＋鉄線 ＋アルミガラスクロス＋金網	－	－																																																					
	冷媒管（断熱材被覆鋼管）	ガス管保温厚㊟	20mm以上	液管保温厚	10mm以上																																																						
	外装材	屋内露出（一般居室、廊下）	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（○ SUS 製）																																																							
	外装材	機械室、書庫、倉庫	○	合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（○ SUS 製）																																																							
	外装材	屋外露出	○	ステンレス鋼板 ○ 合成樹脂カバー ○ 保温化粧ケース（○ SUS 製）																																																							
	空気調和設備機器	冷水水ヘッダー	○ ○ ○	鉄（PSFの場合板又は接着剤） ＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
空気調和設備ダクト	冷水水ヘッダー	屋外	○ ○ ○	＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	－	○																																																					
	冷水水タンク	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	冷水水タンク	屋外	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋外	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋外	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋外	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
	温水水タンク	屋内	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm）	○	－																																																					
消音内張り	消音内張り	サプライチャンバー	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音チャンバー	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					
	消音内張り	消音エルボ	○ ○ ○	鉄＋保温板（厚さ50mm） ＋ガラスクロス＋鋼きつ甲金網	－	－																																																					

※ 凡例 保温材 GW：グラスウール保温材 RW：ロックウール保温材 PSF：ポリスチレンホーム保温材
外装材 ｶｰｰ：カラー亜鉛鉄板 SUS：ステンレス鋼板 AL：溶融アルミニウム亜鉛鉄板
※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第20項に規定する準耐火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より1m以上は
ロックウール保温材を使用すること
※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。

（備考） ㊟印の特記内容は、松戸市仕様である。

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁 改修工事		
図面名	機械設備特記仕様書(2)		
作成年月日	令和 8年 6月	変更年月日	
縮尺	no scale	図面番号	M-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			



PH階平面図 S=1:30

工事概要

給水設備工事

P S外部から既設高置タンク周りの給水管類の保温を撤去・新設する。
配管架台を新設する。

排水設備工事

ドレン管類の保温を撤去する。
ドレン管、オーバーフロー管の塗装をする。

消火設備工事

P S外部の仕切弁、逆止弁を撤去、新設する。
配管類の保温を撤去し、塗装をする。

<凡例>

凡例	名称	仕様	備考
—・—	給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, VB)	
——	ドレン管・オーバーフロー管	水配管用垂鉛メッキ鋼管 (SGPW)	
—X—	消火管	水配管用垂鉛メッキ鋼管 (SGPW) (既設)/配管用炭素鋼鋼管 (SGP白) (改修)	
⋈	弁類	GV: 仕切弁	
⌒	逆止弁		
〰	フレキシブルジョイント		
□	架台	門型ブラケット	
////	配管類撤去範囲		

機器表（既設）						
記 号	機器名称	仕 様	台数	設置場所		備 考
				階	室 名	
TWH-1	既設高置タンク	FRPサンドイッチパネルタンク	1	PH		
		容 量：呼称 1.0[m3]				
		外形寸法： W1000xD1000xH1000 [mm]				

工事名	松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事		
図面名	PH階 平面図		
作成年月日	令和 8年 6月	変更年月日	
縮 尺	1: 30	図面番号	M-03
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2025.7）

1. 工事名称 松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事

2. 工事場所 松戸市本町14番地の10

3. 工 期 令和 8 年 月 日 から 令和 9 年 1 月 21 日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	■電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	□試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真 ■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF，CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	□引渡し関係 □1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	□保全に関する資料 □1 建築物等の利用に関する説明書 □2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □3 機器性能試験成績書 □4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市男女共同参画センター屋上防水及び南側外壁改修工事

2. 工事場所 松戸市本町14番地の10

3. 工 期 令和 8 年 月 日 から 令和 9 年 1 月 21 日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	